２０２４年度（令和６年度）４月入学

大学院理工学府
博士前期課程（修士課程）

夏期入試学生募集要項

一般入試・社会人入試・留学生入試

群　馬　大　学

Gunma University

Graduate School of Science and Technology
Master's Program
Entrance Examination

２０２４

【群馬大学志願者の入学検定料免除について】

群馬大学では、東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者の進学の機会を支援する観点から、特別措置として検定料の全額を免除します。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学のホームページを御覧ください。

〈インターネット出願について〉

群馬大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、紙の募集要項ではなく、インターネット出願を導入しております。

インターネット出願の導入により、学生募集要項の取り寄せが不要となり、出願期間中は 24 時間いつでも出願登録ができます。

目　次

○群馬大学大学院の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
○理工学府の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー（博士前期課程（修士課程））・・・・・・・1
○各プログラムの入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1　募集人員・・5
2　出願資格・・5
3　出願手続き・・・6
4　障害等のある入学志願者との事前相談について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
5　選抜方法・・・10
6　試験科目・・・11
7　試験日程及び試験場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
8　合格者発表・・13
9　入学手続き・・13
10　学年歴・・14
11　教育方法の特例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
12　留学生入試の連絡事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
13　入学志願者の個人情報保護について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
○重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム（重粒子線医理工連携コース）・・・・・・・・16
○特別プログラム「日系企業人材育成のための知能・制御教育プログラム」・・・・・・・・・・・・・17
○英語だけで学位取得が可能なプログラム「修士英語コース」（環境創生理工学教育プログラム土木環境コース）・・・18
○群馬大学大学院検定料払込方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
○群馬大学大学院理工学府博士前期課程（修士課程）案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

○Gunma University Graduate School Admission Policy・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
1　Number of admissions・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
2　Application requirements・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
3　Applications and point of contact・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
4　Prior consultation for applicants with disabilities・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
5　Screening process・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
6　Examination subjects・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
7　Examination schedule and location・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
8　Announcement of successful applicants・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
9　Admission procedure・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
10　Academic year・・35
11　Special education methods・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
12　Overseas Student Entrance Exam guidelines・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
13　About the Protection of Personal Information・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
○Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Radiotherapy, Science and Technology・・・・・・37
○Special program " Education Program on Intelligence and Control for Developing Human

Resources of Japanese Companies" ・・・

群馬大学大学院の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

各研究科・学府が課程又は専攻ごとに求める学力・能力を持ち、研究や実践によって、人類社会の発展に貢献する意欲のある人を受け入れます。

理工学府の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

理工学府博士前期課程（修士課程）

1　学部レベルの理工学に関する基礎知識を身に付け、語学を含む基礎的なコミュニケーション能力を有する人

2　自らの能力向上を目指し、知識基盤社会において指導的役割を担おうとする強い意志と倫理観を有する人

3　新たな科学技術の開拓に、失敗を恐れずに挑戦する勇気と情熱を有する人

【参考】

◇選抜方法　～このような選抜を行います～

1　一般入試：学力試験、面接、口頭試問等の結果を総合的に判断して選抜します。

2　推薦入試：面接、口頭試問の結果、並びに学部における成績等を総合的に判断して選抜します。

3　社会人入試：面接、口頭試問の結果、並びに実務経験等を総合的に判断して選抜します。

4　留学生入試：学力試験、面接、口頭試問等の結果を総合的に判断して選抜します。なお、外国に居住している受験生に関しては、成績証明書、推薦書等の書類審査、並びにインターネットを利用したインタビュー等の結果により判定する場合があります。

各教育プログラムの入学者受入方針（アドミッションポリシー）

〔物質・生命理工学教育プログラム〕

＜人材育成の目標＞

物質科学及び生命理工学の基礎原理から応用までを広く理解し、物性の解明、新規反応の開発、機能材料（物質）の創出、生命現象に関わる生理活性物質の機能解明や新規材料の創製等の諸課題に意欲的・創造的に取り組み、専門知識・技術を総合化して課題を解決でき、高度専門技術者・先端研究者として我が国及び国際社会で先導的役割を担うことができる人材の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本教育プログラムの人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

1．大学の教育課程、特に自然科学・理工学分野の基礎について、大学院教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
2．物質・生命理工学分野に関する基礎知識・基盤的専門知識を有し、この分野に対して強い探究心を持っている人
3．主体的に学び、自己研鑽する意欲を持っている人
4．論理的で柔軟な思考能力と的確な判断能力を持っている人
5．物質・生命理工学分野に対する知的好奇心が旺盛で、新しい課題や科学技術の開拓に積極的・情熱的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

学部レベルの理工学全般に関する基礎知識、語学力、加えて物質・生命理工学分野に関する基礎知識・基盤的専門知識を有することが望ましい。

＜入学者選抜の基本方針＞

本教育プログラムでは、上記の素養を持つ学生を選抜するために、一般入試の他に、社会人入試、留学生入試及び成績優秀者を対象とする推薦入試を実施します。また、学修機会の拡大のため、10月入学の制度を設けています。入学試験では、外国語、筆記試験（基礎科目、専門科目）、面接、推薦書などを組み合わせて、総合的に合否を判断します。

＜一般入試・社会人入試・留学生入試＞

学力試験（外国語・基礎科目・専門科目）を課し、「自然科学・理工学分野の基礎における総合的理解」、「物質・生命理工学分野に関する基礎知識・基盤的専門知識」及び「思考能力・判断能力」を評価します（入学者に求める能力・資質　1、2、4）。また、面接（口頭試問）を課し、「物質・生命理工学分野に対する強い探究心」「主体的に学び、自己研鑽する意欲」「知的好奇心、新しい課題や科学技術の開拓に取り組む意欲」についても評価します（入学者に求める能力・資質　1～5）。さらに、出願書類を加え、総合して判定します。

［知能機械創製理工学教育プログラム］

＜人材育成の目標＞

幅広い自然科学と人文科学の教養と、知能機械創製理工学に関する深遠な専門知識を有し、これをもって人類の持続的な発展と福祉に寄与し、さらに地球環境との調和を意識しながら新しい知能機械を創製していくことができる柔軟性豊かな高度専門職業人を育成する。

＜入学者に求める能力・資質＞

本教育プログラムの人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

1．大学の教育課程、特に知能機械システム理工学について、大学院教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
2．知能機械創製理工学に関する基盤的専門知識を有し、この分野に対して強い探究心を持っている人
3．自ら率先して主体的に学ぶ姿勢があり、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
4．知能機械創製理工学に関する知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的かつ先導的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

学部レベルの理工学全般に関する基礎知識、語学力、機械知能システム理工学を中心とする知能機械創製理工学に関する基盤的専門知識を有することが望ましい。

＜入学者選抜の基本方針＞

本教育プログラムでは、上記の素養を持つ学生を選抜するために、一般入試の他に、社会人入試、留学生入試及び成績優秀者を対象とする推薦入試を実施します。また、学修機会の拡大のため、10 月入学の制度を設けています。入学試験では、外国語、筆記試験（基礎科目、専門科目）、面接、推薦書などを組み合わせて、総合的に合否を判断します。

＜一般入試・社会人入試・留学生入試＞

学力試験（外国語・基礎科目・専門科目）を課し、「知能機械システム理工学における総合的理解」、「知能機械創製理工学に関する基盤的専門知識」及び「論理的で柔軟な思考能力」を評価します（入学者に求める能力・資質 １～３）。また、面接（口頭試問）を課し、「知能機械創製理工学に対する強い探究心」「主体的に学ぶ姿勢」「知的好奇心、新しい課題に取り組む意欲」についても評価します（入学者に求める能力・資質 １～４）。さらに、出願書類を加え、総合して判定します。

［環境創生理工学教育プログラム］

＜人材育成の目標＞

環境調和型社会創造のための革新的な技術開発、良質な社会基盤整備と安全・安心な地域づくり等の諸課題に意欲的・創造的に取り組み、専門知識・技術を総合化して課題を解決でき、高度専門技術者・先端研究者として我が国及び国際社会で先導的役割を担うことができる人材の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本教育プログラムの人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

１．大学の教育課程、特に自然科学・理工学分野の基礎について、大学院教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人
２．環境創生理工学に関する基礎知識・基盤的専門知識を有し、この分野に対して強い探究心を持っている人
３．主体的に学び、自己研鑽する意欲を持っている人
４．論理的で柔軟な思考能力と的確な判断能力を持っている人
５．環境創生理工学に対する知的好奇心が旺盛で、新しい課題や科学技術の開拓に積極的・情熱的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

学部レベルの理工学全般に関する基礎知識、語学力、加えて環境創生理工学に関する基礎知識・基盤的専門知識を有することが望ましい。

＜入学者選抜の基本方針＞

本教育プログラムでは、上記の素養を持つ学生を選抜するために、一般入試の他に、社会人入試、留学生入試、及び成績優秀者を対象とする推薦入試を実施します。また、学修機会の拡大のため、10 月入学の制度を設けています。入学試験では、外国語、筆記試験（基礎科目、専門科目）、面接、推薦書などを組み合わせて、総合的に合否を判断します。

＜一般入試・社会人入試・留学生入試＞

学力試験（外国語・基礎科目・専門科目）を課し、「自然科学・理工学分野の基礎における総合的理解」、「環境創生理工学に関する基礎知識・基盤的専門知識」及び「思考能力・判断能力」を評価します（入学者に求める能力・資質１、２、４）。また、面接（口頭試問）を課し、「環境創生理工学に対する強い探究心」「主体的に学び、自己研鑽する意欲」「知的好奇心、新しい課題や科学技術の開拓に取り組む意欲」についても評価します（入学者に求める能力・資質１～５）。さらに、出願書類を加え、総合して判定します。

［電子情報・数理教育プログラム］

＜人材育成の目標＞

電子情報・数理の基礎原理から応用までを広く理解し、電気電子工学および情報学に関する諸課題に意欲的・創造的に取り組み、専門知識・技術を総合化して課題を解決でき、高度専門技術者・先端研究者として我が国及び国際社会で先導的役割を担うことができる人材の育成

＜入学者に求める能力・資質＞

本教育プログラムの人材育成、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲をもつ人を求めています。

1．大学の教育課程、特に自然科学・理工学分野の基礎について、大学院教育を受けるにふさわしい総合的理解がある人

2．電子情報・数理分野に関する基礎知識・基盤的専門知識を有し、この分野に対して強い探究心を持っている人

3．主体的に学び、自己研鑽する意欲を持っている人

4．論理的で柔軟な思考能力と的確な判断能力を持っている人

5．電子情報・数理分野に対する知的好奇心が旺盛で、新しい課題や科学技術の開拓に積極的・情熱的に取り組む意欲がある人

＜入学に際し必要な基礎学力＞

学部レベルの理工学全般に関する基礎知識、語学力、加えて電子情報・数理分野に関する基礎知識・基盤的専門知識を有することが望ましい。

＜入学者選抜の基本方針＞

本教育プログラムでは、上記の素養を持つ学生を選抜するために、一般入試の他に、社会人入試、留学生入試、及び成績優秀者を対象とする推薦入試を実施します。また、学修機会の拡大のため、10月入学の制度を設けています。入学試験では、外国語、筆記試験、面接、推薦書などを組み合わせて、総合的に合否を判断します。

＜一般入試・社会人入試・留学生入試＞

学力試験（外国語・基礎科目・専門科目）を課し、「自然科学・理工学分野の基礎における総合的理解」、「電子情報・数理分野に関する基礎知識・基盤的専門知識」及び「思考能力・判断能力」を評価します（入学者に求める能力・資質　１、２、４）。また、面接（口頭試問）を課し、「電子情報・数理分野に対する強い探究心」「主体的に学び、自己研鑽する意欲」「知的好奇心、新しい課題や科学技術の開拓に取り組む意欲」についても評価します（入学者に求める能力・資質　１～５）。さらに、出願書類を加え、総合して判定します。

１　募集人員

専攻名	教育プログラム名	募集人員	
理工学専攻	物質・生命理工学教育プログラム	69名	172名
	知能機械創製理工学教育プログラム （特別プログラムを含む　※注１）	37名	
	環境創生理工学教育プログラム （土木環境「修士英語コース」を含む　※注２）	26名	
	電子情報・数理教育プログラム	40名	

※　募集人員の中には、社会人入試若干名（各教育プログラム）、連携大学院若干名（各教育プログラム）及び留学生入試若干名（各教育プログラム）を含みます。

※　2019年度より重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラムが本学医学系研究科と連携して設置されました。本プログラムの詳細については、16 頁をご覧ください。

注１）文部科学省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されたことに伴い、2022年度から特別プログラム「日系企業人材育成のための知能・制御教育プログラム」を設置し、知能機械創製理工学教育プログラム（博士前期課程）及び知能機械創製理工学領域（博士後期課程）で学生の受入れを開始しました。本プログラムは、留学生のほか、日本人学生も受け入れます。詳細は、17 頁を参照してください。

注２）2024 年度より、オーストラリア・ディーキン大学と連携して、英語だけで学位取得が可能なプログラム「修士英語コース」（環境創生理工学教育プログラム土木環境コース）を設置します。詳細は、18 頁をご覧ください。

社会人入試の趣旨

近年、科学技術の進展は著しく、創造性豊かな、活力ある指導的立場に立ち得る技術者・研究者の養成が求められています。このような社会的背景に応え、各種研究機関・教育機関・企業等において活躍中の現職の社会人に対して、研修の継続あるいは自己再教育の場として、本大学院に受入れの道を開いています。この制度を柱に大学と社会、特に産業界との連帯強化を図ることを目的としています。

２　出願資格

＜一般入試＞

次のいずれかに該当する者とします。

（1）大学を卒業した者又は 2024 年３月末までに卒業見込みの者

（2）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者又は 2024 年３月末までに学士の学位を取得見込みの者

（3）外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2024 年３月末までに修了見込みの者

（4）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2024 年３月末までに修了見込みの者

（5）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2024 年３月末までに修了見込みの者

（6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

（7）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者

（8）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第５号）

（9）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 102 条第２項の規定により本大学院以外の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10) 大学に３年以上在学した者、2024 年３月末までに大学に３年以上在学見込の者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、

本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの

（11）本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2024年３月末までに22歳に達するもの

＜社会人入試＞

2024年３月末において同一の研究機関、教育機関若しくは企業等に２年以上勤務する技術者又は研究者で、勤務成績が優秀であり、入学後も引き続きその身分を有する者で、上記出願資格（１）から（11）のいずれかに該当するもの

＜留学生入試＞

日本国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は有する見込みの者で、且つ日本国に永住許可を得ていない者で、上記出願資格（１）から（11）のいずれかに該当するもの

〔注意〕出願資格（９）、（10）及び（11）により出願しようとする者は、入学資格審査を行いますので、下記の書類を2023年６月14日(水)必着で入試・大学院係まで郵送してください。
入学資格審査の結果は、2023年６月23日（金）までに本人宛に通知します。

出願資格（９）、（10）及び（11）により出願する場合の入学資格審査に必要な書類

提出書類		一般	社会人	留学生
①	入学資格審査申請書（審１）	○	○	
②	入学資格審査留学生入試申請書（審２）			○
③	入学希望理由書（審３）	○	○	○
④	履歴書（様式２）			○
⑤	卒業証明書	○	○	○
⑥	成績証明書	○	○	○
⑦	研究業績一覧（様式５）	※○	※○	※○
⑧	研究歴証明書（審４）	※○	※○	※○
⑨	これまでに行った研究の概要2,000字程度 （英語の場合は500語程度）	○	○	○
⑩	学術論文等の写し（発表した学術論文がある者）	※○	※○	※○

※印は該当者のみ。

入学資格審査申請書等提出先
〒376-8515　桐生市天神町１-５-１
群馬大学理工学部　入試・大学院係　〔電話　0277-30-1039、1037〕

３　出願手続き

（１）インターネット出願の流れ・アクセス方法

Step1　群馬大学理工学府ホームページから出願サイトにアクセス

群馬大学理工学府　入試

https://www.st.gunma-u.ac.jp/graduate_exam_master/

Step2　志願者情報等を登録

Step3　入学検定料の支払い　※検定料免除申請者は除く

Step4　群馬大学理工学府HPから提出する様式をダウンロード。
記入（入力）し、印刷

Step5　出願書類等を郵送（７月13日（木）まで）【必着】

（2）出願期間および入学検定料納入期間

事　　項	期　間
インターネット入力及び 入学検定料の支払	2023 年６月 26 日（月）８時 30 分から７月 13 日（木）17 時まで
出願期間 （提出が必要な出願書類等の郵送）	2023 年７月３日（月）から７月 13 日（木）まで

注意事項

出願書類等（写真票、成績証明書等）の提出は、必ず簡易書留速達で郵送してください。簡易書留速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。

出願書類等は、2023 年７月 13 日（木）までに必ず届くよう、郵送期間を十分考慮のうえ、発送してください。

なお、特別な事情がある場合については、2023 年６月 23 日（金）17 時 15 分までに下記へ連絡してください。

群馬大学理工学部　入試・大学院係　電話　［0277-30-1039、1037］

（3）入学検定料支払の方法

検定料　30,000 円

※出願時において国費外国人留学生（日本政府）である場合には、検定料を納入する必要はありません。この場合は、国費外国人留学生であることを証明する書類を提出してください。

次のどちらかの方法により支払ってください。

１．コンビニエンスストアでの支払い

(パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。)

(1)19 頁「群馬大学大学院検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。

(2)支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙（様式３）の所定の欄に貼り付けてください。

２．クレジットカードでの支払い

(パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。)

(1)19 頁「群馬大学大学院検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。

(2)支払後、「入学検定料・選考料　取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙（様式３）の所定の欄に貼り付けてください。

※既納の検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合又は書類の不備等により受理されなかった場合、あるいは重複振り込み等所定の金額より多く振り込んだ場合は、下記手続きにより返還します。返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。

返還に当たっては便せん等を用い、次のア～オを明記した検定料返還申出書を作成して理工学部会計係へ郵送してください。

ア 返還申出の理由
イ 氏名（フリガナ）
ウ 郵便番号、住所
エ 連絡電話番号
オ 志望教育プログラム

［返還申出書送付先］
〒376-8515　群馬県桐生市天神町１－５－１
群馬大学理工学部　会計係　電話：0277-30-1068

（4）入学検定料の免除について

東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。

[検定料の免除の対象者]

１．東日本大震災に係る特別措置

(1)東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者

① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者
② 学資負担者が死亡又は行方不明の者

(2)学資負担者の居住地が、福島第一原子力発電所で発生した事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者

２．風水害等の災害に係る特別措置

(1)出願期限の日から前１年以内に発生した風水害等の災害において、災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者

① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流出した者
② 学資負担者が死亡又は行方不明の者

(2)本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用域」については、本学ホームページ（入試情報＞学費・奨学金）を御確認ください。

上記に該当される方は、当該「検定料免除申請書」を本学ホームページ（入試情報＞学費・奨学金）からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日８時 30 分から 17 時 15 分の間に学務部学生受入課【電話 027-220-7149】まで連絡してください。
URL: https://www.gunma-u.ac.jp/

（５）出願書類等

入学志願者は、次の書類を所定の期日までに本学へ提出してください。
出願書類等に不足がある場合、出願を受け付けることができませんので、注意してください。
なお、出願に必要な様式は、本学理工学部ホームページからダウンロードしてください。

	提出書類	対象者	摘　　要
①	自動返信メール	全　員	インターネット出願頁の出願登録完了後の返信メールを印刷してください。
②	写真票	全　員	本学所定の用紙（様式１）を用いて、氏名・志望教育プログラムを記入し、写真を貼り付けたものを提出してください。
③	成績証明書（＊）	全　員	出身校の長が作成したもの。（原本であること。コピーは不可。） ※日本語又は英語以外で作成されたものには、日本語又は英語による訳文を添付してください。（可能な限り出身大学等が作成したもの）
④	卒業証明書又は 卒業見込証明書(＊)	全　員	出身校の長が作成したもの。（原本であること。コピーは不可。） 本学工学部又は理工学部を卒業見込みの者は不要です。 ※日本語又は英語以外で作成されたものには、日本語又は英語による訳文を添付してください。（可能な限り出身大学等が作成したもの）
⑤	学位取得証明書又は学位授与申請予定証明書	出願資格（２）により出願する者	出願資格（２）により出願する者で、学士の学位を授与された者は、大学改革支援・学位授与機構が作成した学位授与証明書を提出してください。学位を授与される見込みの者は、在籍学校長が発行した学位授与申請予定証明書を提出してください。
⑥	受験承諾書	社会人入試	本学所定の用紙（様式４）
⑦	研究業績一覧(＊)	社会人入試	本学所定の様式（様式５） （Ａ４判で所定の内容を記入したものでも可）
⑧	志望理由書	一般入試 留学生入試	本学所定の様式（様式６） （Ａ４判で所定の内容を記入したものでも可（1,000字以内、英語の場合250語以内））
⑨	志望理由及び研究計画書	社会人入試	本学所定の様式（様式７） （Ａ４判で所定の内容を記入したものでも可（1,000字以内、英語の場合250語以内））
⑩	履歴書(＊)	留学生入試	本学所定の様式（様式２）
⑪	国籍及び在留資格を確認できるもの	留学生入試	市区町村長の発行する「個人番号が記載させていない住民票の写し」（国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの）又は「パスポートの写し」（姓名、国籍、在留資格、在留期間が記載されたページ）等。 ※海外在住者においては、「パスポートの写し」（顔写真のある頁）を提出し、入学手続き時に必ず上記に該当するものを提出すること。

	提出書類	対象者	摘　　要
⑫	TOEFL-PBT、TOEFL-ITP、TOEFLiBTのスコア (2020年10月以降に実施されたもの)	全　員 TOEFL、TOEIC、IELTSのうちいずれか1つのみ有効	本人宛に送付されたスコア（Test Taker Score Report又はスコアカード）の原本とそのコピー（Ａ４サイズ）を１部提出してください。原本は受験票とともに返送します。 なお、TOEFL-ITPのスコアは群馬大学が実施したものに限ります。
⑬	TOEIC Listening & Reading (公開テスト)のスコア (2020年10月以降に実施されたもの)		Official Score Certificateの原本とそのコピー(Ａ４サイズ)を１部提出してください。原本は受験票とともに返送します。
⑭	TOEIC Listening& Reading Test（IP）のスコア (2020年10月以降に実施されたもの)		群馬大学が実施したTOEIC Listening& Reading Test（IP）テストのScore Reportの原本とそのコピー１部（Ａ４サイズ）を提出してください。原本は受験票とともに返送します。
⑮	IELTSのスコア (2020年10月以降に実施されたもの)		本人宛に送付されたスコア(Test Report Form)の原本とそのコピー（Ａ４サイズ)を１部提出してください。原本は受験票とともに返送します。
⑯	検定料収納証明書	全　員	本学所定の検定料収納証明書貼付台紙（様式３）を印刷し、所定位置に添付して提出してください。
⑰	受験票送付用封筒	日本国内在住者	長形３号の封筒に宛先を明記し344円分切手を貼付したもの。

（注）**１．入学資格審査で出願資格が認定された者は、＊印については提出不要です。**
２．出願手続き後においては、記載事項の変更は認めません。

（６）出願書類等の提出方法
郵送の際は、Ａ４サイズの書類を折らずに入れることができる封筒(角形２号)を使用し簡易書留速達にて郵送してください。
※ただし、海外から郵送する場合には、「EMS（国際スピード郵便）等の追跡可能な送付方法を利用し、封筒の表には「入学願書（APPLICATION DOCUMENTS)」と朱書してください。

（７）受験票について
インターネット出願により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認され、出願が受理されると、７月 26 日（水）までに受験票送付用封筒にて受験票を送付します。受験票を当日必ず持参してください。
なお、海外在住者に対しては、メールにて受験票（PDF）を送付します。受験票（PDF）を白色のＡ４用紙で印刷し、当日必ず持参してください。
※受験票が到着したら、受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。万一記載に誤りがある場合や、７月 26 日（水）を過ぎても受験票（海外在住者の場合はメール）が届かない場合には、下記まで連絡をしてください。

【出願書類提出先・問合せ先】
〒376-8515 桐生市天神町１－５－１
群馬大学理工学部　入試・大学院係　　［電話：0277-30-1039、1037］
E-mail:t-gakumu@jimu.gunma-u.ac.jp

４　障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等があって、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。
（１）相談の時期
2023 年６月 23 日（金）までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。
（２）相談の方法
本学府所定の相談書に医師の診断書等の必要書類を添付して提出してください。
（群馬大学理工学部ホームページ参照：https://www.st.gunma-u.ac.jp/graduate_exam_master/）
必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行います。

（3）連絡先
〒376-8515　桐生市天神町１－５－１
群馬大学理工学部　入試・大学院係　　［電話：0277-30-1039、1037］

５　選抜方法

（1）一般入試（連携大学院を含む）及び留学生入試
学力試験（基礎科目及び専門科目）、書類審査及び面接を含めた総合成績により判定します。

（2）社会人入試
書類審査、口述試験及び面接（研究分野に関連した科目についての専門的学力、職務経歴、研究計画書、卒業研究等について口述試験を実施します。同時に提出書類に基づいて面接を行います）を含めた総合成績により判定します。

（3）留学生入試における外国居住者等の学力試験等の免除について
① 外国居住者の学力試験及び面接試験免除
知能機械創製理工学教育プログラム及び環境創生理工学教育プログラムにおいては、出願書類の審査により、特に学力が優秀で、博士前期課程（修士課程）入学の資格があると認められた外国居住者に対して、学力試験及び面接試験を免除することがあります。試験等を免除する場合は試験の数日前までに本人宛に通知します。

② 日本国内在住者の学力試験免除
知能機械創製理工学教育プログラム及び環境創生理工学教育プログラムにおいては、出願書類の審査により、特に学力が優秀で、博士前期課程（修士課程）入学の資格があると認められた日本国内在住者に対して、学力試験を免除することがあります。学力試験を免除する場合は試験の数日前までに本人宛に通知します。
ただし、その場合にも面接試験は受験しなければなりません。

（4）TOEFL、TOEIC 又は IELTS の成績提出による外国語（英語）試験について
① 外国語（英語）試験については、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP(群馬大学が実施したもの)、TOEIC Listening & Reading（公開テスト）、TOEIC　Listening & Reading Test（IP）(群馬大学が実施したもの)、IELTS のいずれか１つのスコアを提出することとなります。（試験当日に外国語（英語）の試験は実施しません。）
スコアの提出方法については、**３出願手続き（5）願書書類等**⑫から⑮（９頁）を参照してください。

② 換算方法
次の換算式により 100 点満点に換算し、外国語（英語）の得点とします。
なお、換算式の値が０点以下、又は 100 点以上となる場合は、それぞれ得点は０点と 100 点になります。また、計算式で得られる値の小数点以下１桁目を四捨五入して得られる値を得点とします。

TOEFL-PBT
TOEFL-ITP　　換算後の得点 ＝ 0.398 ×（TOEFL-PBT、TOEFL-ITP の得点）－ 123.6
TOEFL-iBT　　換算後の得点 ＝ 1.2 ×（TOEFL-iBT の得点）＋ 1.0
TOEIC　　換算後の得点 ＝ 0.139 ×（TOEIC の得点）－ 6.3

下表に換算値の例を示します。

英語試験換算	40点	50点	60点	70点	80点	90点	100点
TOEFL-PBT TOEFL-ITP	411点	437点	461点	487点	512点	537点	562点以上
TOEIC	333点	405点	477点	549点	621点	693点	765点以上

英語試験換算	41点	50点	60点	71点	80点	90点	100点
TOEFL-iBT	33点	41点	49点	58点	66点	74点	83点以上

また、IELTS（Academic Module）との換算は下表のとおりです。

英語試験換算	22点	31点	40点	50点	59点	68点	77点	87点	96点	100点
IELTS（Academic Module）	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5以上

６　試験科目

＜一般入試・留学生入試＞

教育プログラム	試験科目の分野	試験科目等			
		外国語（英語）	基 礎 科 目	専 門 科 目	面接等
物質・生命理工学		TOEFL TOEIC IELTS いずれか１つのスコア(注)を提出	以下の分野（基礎的理解度を重視）について各１問（計４問）出題、全問解答。 １．有機化学 ２．無機・分析化学 ３．物理化学 ４．生物学・生物化学	以下の分野（専門的理解度を重視）について各３問（計12問）出題、５問選択解答。 １．有機化学 ２．無機・分析化学 ３．物理化学 ４．生物学・生物化学	基礎的専門知識の試問 人物考査 学習意欲 研究意欲
知能機械創製理工学		TOEFL TOEIC IELTS いずれか１つのスコア(注)を提出		下記科目から３科目を選択（数学及び物理学の内容を含む） １．機械材料 ２．熱力学 ３．流体力学 ４．材料力学 ５．機械力学 ６．制御工学 ７．情報工学	基礎的専門知識の試問 人物考査 学習意欲 研究意欲
環境創生理工学 ［右の２つの試験科目の分野のうち、いずれか１つを出願時に選択する。］	環境エネルギー	TOEFL TOEIC IELTS いずれか１つのスコア(注)を提出	下記範囲から出題 物理化学 有機化学 無機化学 微生物学 材料科学 化学工学基礎（物質・エネルギー収支）	下記範囲から出題 分離工学 反応工学 電気化学 化学熱力学 移動現象論 プロセス・システム工学	基礎的専門知識の試問 人物考査 学習意欲 研究意欲
	社会基盤・防災		数学及び物理学 （基礎的理解度を重視）	下記科目から３科目を選択 １．構造工学 ２．地盤工学 ３．水工学 ４．環境工学 ５．都市工学	
電子情報・数理 ［右の３つの試験科目の分野のうち、いずれか１つを出願時に選択する。 **選択に当たっては、第１志望教員と相談して決定すること。**］	電気電子	TOEFL TOEIC IELTS いずれか１つのスコア(注)を提出	下記科目から２科目を選択 １．数学 ２．物理学 ３．電磁気学 ４．電気回路 ５．電子回路		基礎的専門知識の試問 人物考査 学習意欲 研究意欲
	情報科学分野		下記２領域における基礎的素養及び数理的思考力を評価する小問を出題 １．基礎数理 ２．情報基礎		
	数理科学		数学適性試験		

＜社会人入試＞

科目 / 教育プログラム	外国語（英語）	口述試験及び面接
全教育プログラム	TOEFL又はTOEICのスコア(注)を提出	研究分野に関連した科目についての専門的学力、職務経歴、研究計画書、卒業論文等について実施します。 同時に、提出書類に基づいて面接を行います。

(注)提出できるのは、TOEFL-PBT、TOEFL-ITP（群馬大学で実施したものに限る）、TOEFL-iBT、TOEIC 公開テスト、TOEIC-IP（群馬大学で実施したものに限る）、IELTS のうち、2020 年 10 月以降に実施されたもののスコア

7　試験日程及び試験場

＜一般入試・留学生入試＞

（1）試 験 日　2023 年８月 25 日（金）

（2）試 験 場　群馬大学理工学部桐生キャンパス（試験場への案内参照）
なお、試験室等は、前日までに構内に掲示します。

（3）試験時間割

<table>
<tr><th>教育プログラム</th><th>試験科目の分野</th><th>時　間　割</th></tr>
<tr><td>物質・生命理工学</td><td></td><td>8:40 12:00 13:15 15:30 16:00 18:00
基礎科目 専門科目 面　接</td></tr>
<tr><td>知能機械創製理工学</td><td></td><td>9:45 10:00 12:00 13:15 13:30 15:30
諸注意 専門科目 諸注意 面　接</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境創生理工学</td><td>環境エネルギー</td><td>9:45 10:00 11:30 13:00 15:00 15:10 16:30
諸注意 基礎科目 専門科目 面　接</td></tr>
<tr><td>社会基盤・防災</td><td>9:45 10:00 11:30 13:00 15:00 15:10 16:30
諸注意 基礎科目 専門科目 面　接</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報・数理</td><td>電気電子</td><td>9:45 10:00 13:00 14:00 16:30
諸注意 基礎科目及び専門科目 面　接</td></tr>
<tr><td>情報科学</td><td>9:45 10:00 11:30 13:30 16:30
諸注意 基礎科目及び専門科目 面　接</td></tr>
<tr><td>数理科学</td><td>13:15 13:30 15:30 16:00 18:00
諸注意 数学適性試験 面　接</td></tr>
</table>

（4）受験上の注意事項

① 試験当日やむを得ない事情により遅刻した者には、試験開始後 30 分までは受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。

② 時計は計時機能だけのものに限り使用を認めます。

③ 携帯電話、スマートフォンや音の出る機器及び録音機（IC レコーダー）等は身に付けてはいけません。必ずアラームを解除し電源を切り、かばんなどにしまってください。

④ 物質・生命理工学教育プログラムでは、電卓、定規、コンパスの携行を認めません。ただし、試験中に電卓を貸与します。

⑤ 知能機械創製理工学教育プログラムは、電卓（プログラムメモリー付きの電卓を除く。）、定規、コンパスの携行を認めます。

⑥ 環境エネルギー分野では、試験中に電卓を貸与しますので電卓の持ち込みは認めません。定規、コンパスの携行は認めます。

⑦ 社会基盤・防災分野及び電子情報・数理教育プログラムは、電卓、定規、コンパスの携行を認めません。

⑧ 物質・生命理工学教育プログラムの試験時間には、受験上の注意について説明する時間を含みます。

＜社会人入試＞

（１）試 験 日　2023 年８月 25 日（金）

（２）試 験 場　群馬大学理工学部桐生キャンパス（試験場への案内参照）
なお、試験室等は前日までに構内に掲示します。

（３）試験時間

時間 / 教育プログラム	13:30		17:00
全教育プログラム		口述試験及び面接	

８　合格者発表

2023 年９月５日（火）付けで、合格者本人に合格通知書を郵送します。併せて、合格者の受験番号を群馬大学理工学部のホームページに同日の 11 時以降から９月 22 日（金）まで掲載します。大学構内での掲示等は行いません。

なお、合否についての電話による問い合わせには、応じません。

URL：https://www.st.gunma-u.ac.jp/

９　入学手続き

入学手続日等については、別途通知します。

（１）入学手続きに必要な経費

入学料　282,000 円

（注）ア．入学時に入学料の改定が行われた場合は、改定金額を適用します。
イ．入学料の納入方法等は、別途連絡します。
ウ．納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

（２）入学後に必要な納付金

授業料　前期分　267,900 円　年額　535,800 円

（注）ア．授業料に、入学時および在学中改定が行われた場合は、改定金額を適用します。
イ．授業料の納入方法等は、別途連絡します。
ウ．授業料の納入については、希望により入学料の納入の際に，前期分又は前期分･後期分を合わせて納入することができます。
エ．授業料を納入した入学手続完了者が、2024 年３月 29 日（金）までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続きの上、納入した授業料相当額を返還します。

（３）その他の諸経費

入学料、授業料の他に、次の諸経費があります。

学生教育研究災害傷害保険料　1,750 円
学研災付帯賠償責任保険　680 円
} セット加入のため計 2,430 円
後援会費　10,000 円
合計：12,430 円

（注） 工業会（同窓会）未加入の方については、工業会費（終身会費）50,000 円と合わせて 62,430 円となります。納入方法は、入学手続後にお渡しする払込取扱票により、郵便局の郵便振替で振り込んでください。

（４）入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

○　特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料を免除する制度があります。
また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

○　東日本大震災で罹災し学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料を免除する制度があります。
申請を希望する者は、群馬大学ホームページ（https://www.gunma-u.ac.jp/）の「入試情報＞学費・奨学金」を御覧ください。

問合せ先　群馬大学理工学部　学生支援係　電話：0277-30-1042、1047

○　入試結果や学業成績などが特に優秀な学生（卓越した学生）に対して、各研究科及び学府等からの推薦に基づき、授業料の免除をする制度があります。

問合せ先　群馬大学理工学部　学生支援係　電話：0277-30-1023

（5）奨学金

経済的理由により修学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ（https://www.gunma-u.ac.jp/）の「入試情報＞学費・奨学金」を御覧ください。

なお、日本学生支援機構の大学院奨学金には、在学採用（入学後に奨学金を申込む制度）及び予約採用（入学前に奨学金を予約申込みする制度）があります。予約採用制度を希望する者は、合格発表前でも応募できますが、募集期間がありますので９月末日までに下記までお問い合わせください。

問合せ先　群馬大学理工学部　学生支援係　電話：0277-30-1042、1024

10　学年暦

学年は、毎年４月１日に始まり翌年３月 31 日に終わります。

11　教育方法の特例

社会人入試で入学した学生で希望する者に対しては、次の教育方法の特例により教育を実施します。

〇大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例

大学院設置基準第 14 条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人等の修学に配慮がなされています。

概要については、次のとおりです。

１．履修方法

あらかじめ指導教員に特例適用を申し出て履修計画を作成します。

１年次は通常の授業時間帯での履修を原則とします。２年次に特例により 10 単位まで履修することができます。

なお、申し込みについては、出願書類提出前に入試・大学院係及び指導教員（志望教員）の了解を得ておいてください。

２．実施時間

特例による授業時間は次のいずれかで行います。

平　日　17 時 35 分から 19 時 5 分

土曜日　8 時 40 分から 15 時 50 分

なお、必要に応じて夏季及び冬季休業中にも授業及び研究指導を行います。

３．その他

申し込み方法等詳細については、理工学部入試・大学院係に問い合わせてください。

〇長期履修制度

理工学府では、2008 年度から群馬大学大学院学則第 16 条の２に基づき、職業を有している等の事情で、学修及び研究指導を受ける時間に制約を受けるため、標準修業年限（博士前期課程２年、博士後期課程３年）を超えて在学しなければ課程を修了することができない者に、本人の申請により審査し、標準修業年限を超える長期履修をあらかじめ認めることにより、計画的な課程の修了と学位の取得を可能にする長期履修制度を導入しています。

長期履修として認められる期間は、博士前期課程にあっては最長４年間、博士後期課程にあっては最長６年間です。

12　留学生入試の連絡事項

（1）この入試で入学した学生に対しては、英語及び日本語の予備教育を受けておくことを望みます。
（2）外国人留学生専用の宿舎として、国際交流会館があります。入居希望者は合格発表後、入居申請書を理工学部学生支援係に請求し提出してください。入居は選考の上、決定します。

問合せ先　群馬大学理工学部　学生支援係　電話：0277-30-1023、1024

13　入学志願者の個人情報保護について

群馬大学では、提出された出願データ及び出願書類により取得した志願者の個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報について、「国立大学法人群馬大学保有個人情報管理規定」に基づいて取扱い、次の目的以外には利用しません。

○　入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）
○　入学手続完了者にあっては、入学者データとして入学後の就学指導業務、学生支援業務及び授業料徴収業務
○　大学運営上の目的で行われる調査・研究に関する業務（入試の改善や志願動向の調査・分析、各種統計資料作成業務を含む。）

なお、当該個人情報を利用した調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないよう処理します。
また、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱に関する契約を締結した上で、外部の事業者に委託することがあります。

重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム
（重粒子線医理工連携コース）

重粒子線によるがん治療は身体の負担が少なく高いＱＯＬ（Quality of Life)が得られる治療法で、今後重要ながん治療法になると期待されています。群馬大学は大学院博士課程を有する大学としては唯一重粒子線治療装置を所有し、重粒子線治療に関連した教育・研究・人材育成を行うことができる大学です。

重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラムは2019年度より本学医学系研究科と連携して設立されました。

本プログラムの募集人員は２名程度です。履修希望者は理工学府博士前期課程に入学後、９月頃に別途行われる試験によって選抜されます。また、本プログラムは、博士前期・後期課程を一貫した「５年一貫の学位プログラム」です。

重粒子線医理工連携コース概要

重粒子線によるがん治療は、放射線腫瘍医だけでなく、医師のニーズに応えられる装置の開発・治療計画の立案に携わる開発技術者および医学物理士、さらに治療の最適化を検証する生物学者などが支え合うことで成り立っています。

本学位プログラムでは、医学系研究科と理工学府の博士課程（前期・後期課程）に医学・理工学融合型のリーディングプログラム重粒子線医理工連携コースを創設し、これにより、学際的な先進的医療である重粒子線治療を各専門分野の領域を超えて牽引する、優れた資質を持つ、世界に通用する放射線腫瘍医リーダーならびに物理工学分野や医学生物学分野のリーダーおよび重粒子線医療機器開発企業の研究開発リーダーの養成をめざします。

医学物理コース

先進的な放射線治療である高エネルギー炭素線を用いた「重粒子線治療」やＸ線を用いた「IMRT」などでは、医学物理の知識を発展・継承させていく医学物理の研究者や臨床現場で活躍する医学物理士の人材が不可欠です。そこで、重粒子線医理工連携コースに医学物理コースを設置し、重粒子線医学・生物学の基礎と重粒子線先端臨床研究ならびに高度医療機器の開発・運用技術の両面を習得し、その特性や中心的学問領域に応じ、国内外の放射線・重粒子線の研究拠点や重粒子線治療施設、重粒子線治療を包括的に運営・開拓する、あるいは高度医療機器開発産業における国際的な指導者となりうる医学物理分野の専門家を養成します。

《問合せ先》
群馬大学理工学部 入試・大学院係
（重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム担当）
〒376-8515 群馬県桐生市天神町１－５－１
TEL：0277-30-1037
Email: t-gakumu@jimu.gunma-u.ac.jp

特別プログラム「日系企業人材育成のための知能・制御教育プログラム」

（Education Program on Intelligence and Control for Developing Human Resources of Japanese Companies）

文部科学省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されたことに伴い、このプログラムは 2022 年度から開始しました。希望者は、インターネット出願時に知能機械創製理工学領域（博士後期課程）を選択するとともに「特別プログラム」を申請の上、受験してください。

《プログラムの要旨》

優秀な留学生を獲得し、日系企業の一線で次世代の知能・制御に関する技術専門職に携わる人材へと育て上げます。当該留学生は、メカトロニクス、自動制御、人工知能、データサイエンスを包括する、次世代の知能・制御の専門知識を習得すると共に、それらを実践するプロジェクト研究へと参画し、日本型の研究開発能力を修得します。さらに、日本語教育、企業インターンシップなどについて優遇措置を設け、日系の知能・制御技術関連企業への就業を支援します。

本プログラムでは、留学生のほか、日本人学生も受け入れます。

本プログラムは、実施主体の本学知能機械創製部門の強みであるメカトロニクスおよび知能・制御分野を中心とし、日本人学生とバディを組むことによる協働を前提とした教育・研究内容となっています。学部生をリクルート予定である協定各校は、科学技術分野に強い学科を有しており、本学との共同シンポジウム開催、地域イノベーションのためのプロジェクト活動、共同研究を策定できます。本学の日本人学生はこれらに参画することで、他国の人々との協働を通した成長の機会を得ることができます。

参照 URL：https://program-on-control.mst.st.gunma-u.ac.jp/

英語だけで学位取得が可能なプログラム
修士英語コース（環境創生理工学教育プログラム土木環境コース）
【予告】

環境創生理工学教育プログラム土木環境コースにおいて、英語で提供される授業のみで学位取得が可能な修士課程のプログラム（2024 年度設置）。

- **プログラムの特徴**

特徴１：専門科目

土木工学・環境工学に関する高度な専門科目をすべて英語で履修。早い段階で専門分野の深化を図るため、博士課程の専門科目の早期履修が可能。

特徴２：研究室留学

修士課程に在籍中、３ヵ月以内の海外協定大学での研究室留学を積極的に推進し、協定大学と本学の教員の双方から論文指導を受ける。

- **カリキュラム・修了要件等の詳細**

https://www.facebook.com/GunmaCEE/

群馬大学大学院 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/

本学HPからもアクセスできます！

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。

2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払い

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

セブン-イレブン

【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

ローソン・ミニストップ

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Loppi へ
各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】を入力

ファミリーマート

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Famiポート へ
代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券 」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料　取扱明細書」を受け取ってください。

クレジットカードでお支払い

VISA / mastercard / AMERICAN EXPRESS / JCB

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

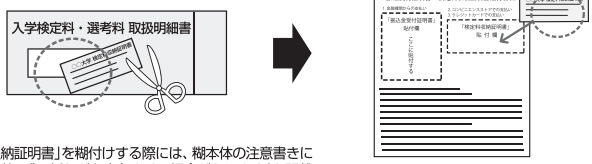
全入力内容が表示されますので、正しければ「**確定**」を押す

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会(URL:https://e-shiharai.net/)　にアクセスして下記の手順に従って、「収納証明書」を印刷してください。

3 出　願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

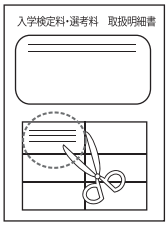
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。「収納証明書」部分を切り取り、貼付台紙の所定欄に貼り出願。



＜注意＞
プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

●携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

●出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

●支払い最終日の「Webサイトでの申込み」は１６:３０まで、店頭端末機の操作は１７:００までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。１７:００までにお手続きしてください。

●「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●一度お支払いされた検定料は返金できません。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限ります。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

群馬大学大学院理工学府博士前期課程（修士課程）案内

本学府の前期課程（修士課程）では、学部における専門的基礎の上に、広い視野に立脚して各教育プログラム分野を研究し、精深なる学識と研究能力を養うことを目的とし、その修業年限は2年です。本課程に2年以上在学し、各教育プログラム科目について所定の必修科目及び選択必修科目等を含めて合計32単位以上修得し、更に、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、修士（理工学）の学位が授与されます。本学府に設けられている各教育プログラムの所属教員及び教育・研究内容
※出願に当たっては、あらかじめ志望教員から合格後の受入れ承認を得た上で、出願してください。

◆物質・生命理工学教育プログラム

教員名		研究内容
教授	浅川　直紀	バイオベースポリマーの機能化、高分子の創発的ダイナミクスを利用した生体情報処理デバイス
教授	浅野　素子	光機能性金属錯体及びπ電子化合物の設計・合成と励起状態ダイナミクスの解明
教授	網井　秀樹	新しい有機合成反応の開発とその応用
教授	井上　裕介	遺伝子欠損マウスを用いた肝臓の核内受容体の機能解析
教授	上原　宏樹	高分子材料の延伸加工による高性能化・高機能化
教授	海野　雅史	有機ケイ素及び有機ヘテロ原子化合物の設計、合成と応用
教授	Md. Zakir Hossain	SiC上のエピタキシャルグラフェンの化学修飾
教授	奥津　哲夫	結晶成長の光制御、有機化合物の励起緩和過程
教授	尾崎　広明	機能化核酸の開発と遺伝子解析への応用
教授	粕谷　健一	生分解性ポリエステル分解酵素の構造と機能、環境浄化微生物の探索
教授	京免　徹	機能性酸化物の設計と固体化学
教授	佐藤　記一	生体関連物質のマイクロ分析化学
教授	白石　壮志	炭素系ナノ細孔体材料の開発と電気化学キャパシタへの応用
教授	住吉　吉英	短寿命分子種及びラジカルクラスターの分子構造の研究
教授	園山　正史	生体分子科学、タンパク質の構造・機能・ダイナミクス
教授	高橋　　浩	生体膜モデル系及び生体高分子の熱物性と構造解析
教授	武田　茂樹	受容体の機能解析、タンパク質の自己組織化の解析と応用
教授	中村　洋介	新規π共役系化合物の構築と機能物質への応用
教授	花屋　　実	機能性固体材料の開発とその熱・誘電・光物性及び磁性の研究
教授	藤沢　潤一	光エネルギー変換のための無機-有機複合材料の研究
教授	松尾　一郎	糖鎖科学、糖鎖工学、糖質関連化合物の合成と機能解析
教授	村岡　貴子	高周期典型元素を含む特異な配位子とその遷移金属錯体の研究
※教授	山本　隆夫	複雑流体の統計物理学
准教授	岩本　伸司	無機材料の合成と触媒特性に関する研究
准教授	奥　　浩之	生体関連化学、生体高分子材料、ワクチンと検査キットの開発
准教授	下赤　卓史	分子集合系の物理化学・振動分光学
准教授	菅野研一郎	遷移金属触媒を用いる有機ケイ素化合物の新規合成法の開拓
准教授	高橋　　剛	ペプチド・タンパク質工学による機能性分子の創製と応用
准教授	武田　亘弘	小分子の活性化を指向した新規配位子を有する金属錯体の創製
准教授	竹田　浩之	人工光合成反応を指向した第一遷移金属錯体の機能性の研究
准教授	武野　宏之	多成分高分子系の自己凝集構造とダイナミクス
准教授	橘　　熊野	バイオベース材料と生分解性材料の開発
准教授	堂本　悠也	複雑秩序をもつ巨大分子の超分子自己集合による合成デザインと機能開拓
准教授	行木　信一	大腸がんの分化に関わるタンパク質の機能探索、RNAとタンパク質の立体構造解析
准教授	森口　朋尚	機能性核酸分子の創成、天然物関連化学
准教授	山路　　稔	有機化合物及び有機金属錯体の励起状態における光物理・光化学反応過程の研究
准教授	山田　圭一	合成化学と分子イメージング技術の融合による新規生物活性ペプチドの創製
准教授	吉原　利忠	有機化合物の光物理・光化学および発光分子を用いたバイオイメージングに関する研究
准教授	米山　　賢	未利用資源を活用した高分子の合成、遷移金属触媒を用いる新規重合方法
客員教授	阿部　英喜	生物有機資源を利用した高分子の分子・材料設計に関する研究
客員教授	川島　隆幸	典型元素の特性を活かした新規機能生分子の創成
客員教授	齋藤　　剛	定量NMRに関する研究
客員教授	瀬古　典明	放射線を活用した高分子の加工技術に関する研究
客員教授	田口　光正	量子ビーム反応と環境・医療応用研究
客員教授	前川　康成	量子ビームによる高分子機能材料の創製と構造・機能解析の研究
客員教授	八巻　徹也	次世代エネルギーデバイスのためのナノテクノロジー研究と材料創製
客員准教授	吉川　佳広	表面分子集積に関する研究、分解を制御した生分解性ポリマー材料の開発
客員准教授	田中　陵二	新しい有機ケイ素化合物合成反応の研究
客員准教授	沼田　圭司	天然クモ糸および人工シルク材料の構造と機能に関する研究
客員准教授	廣木　章博	高分子材料の放射線改質と環境にやさしいモノ作り
客員准教授	山本　洋揮	量子ビーム誘起反応に基づいた超微細加工材料に関する研究

※印の教員は2025年3月末に定年退職となります。

◆知能機械創製理工学教育プログラム

教員名		研究内容
教授	天谷 賢児	熱流体工学、界面変動、微粒化、環境流体工学
教授	荒木 幹也	ジェットエンジン、自動車エンジン、流体騒音、燃焼、噴霧
教授	石間 経章	流れ及び熱・物質移動の実験的解明、微細粒子を含む流れのレーザ応用計測
教授	荘司 郁夫	異相界面科学、マイクロ接合、電子実装材料、ろう付、表面処理、金属の腐食
教授	鈴木 孝明	マイクロマシン・MEMSとそのバイオ・光・IoT応用
教授	中沢 信明	ヒューマンインタフェース、生体運動制御、ロボットの動作計画
教授	半谷 禎彦	ポーラスアルミニウムの作製・力学特性評価
教授	藤井 雄作	精密計測、光波干渉計測、電気機械計測、基礎物理定数の設定法
教授	古畑 朋彦	燃焼、噴霧流、排ガス後処理、ガスタービン
教授	丸山 真一	機械構造の振動解析と実験計測、非線形現象
教授	山口 誉夫	自動車構造、機械、生体の動特性解析、CAE、制振、防音、音響、波動ブラックホール
教授	山田 功	システム制御理論とその応用、機械・ロボットの制御、機械の知的制御
教授	林 偉民	超精密加工・計測・表面評価の技術
准教授	相原 智康	金属の強度と破壊の微視的評価、流体の特性のシミュレーション
准教授	井上 雅博	有機/金属/無機ハイブリット材料の開発・物性評価及び先導的エレクトロニクス実装応用技術への応用
准教授	岩崎 篤	構造健全性モニタリング、複合材料、締結
准教授	川島 久宜	気泡力学、熱流体計測、混相流
准教授	小山 真司	精密接合、表面硬化、耐食性、耐摩耗性
准教授	座間 淑夫	噴霧工学、可視化計測、自動車工学
准教授	鈴木 良祐	スマートマニュファクチャリング、IoT活用、デジタル通信、材料試験技術
准教授	田北 啓洋	光計測、画像処理、社会安全、IoTデバイス
准教授	田中 有弥	有機分子材料の物性評価と半導体素子・メカトロニクス素子への応用
准教授	舩津 賢人	高速高温流体力学、宇宙飛翔体の熱防御技術、分光法によるプラズマ診断
准教授	村上 岩範	電磁力応用、アクチュエータ、超電導応用、移動ロボット、跳躍ロボット
准教授	Md Abdus Samad Kamal	次世代用自動車両・交通制御システム、モデル予測制御・インテリジェント制御とその応用
客員教授	岡島 智史	高速炉の高温構造設計評価技術、確率論的リスク評価と構造信頼性評価の連携
客員教授	鏑木 哲志	ものづくりへのIoT活用に関する研究
客員教授	若井 隆純	高速増殖炉の高温構造設計評価技術、高速増殖炉用構造材料の強度評価技術
客員教授	渡壁 智祥	高速炉の耐震設計評価技術
客員教授	渡邉 裕彦	はんだ付、ミクロ組織評価、高温動作パワーエレクトロニクス用接合材料

◆環境創生理工学教育プログラム

教員名		研究内容
教授	板橋 英之	環境中の重金属イオンのスペシエーションと除去
教授	大嶋 孝之	高電圧技術のバイオ・水環境への工学的応用
教授	尾崎 純一	炭素表面の機能化と燃料電池電極触媒等への応用
教授	小澤満津雄	コンクリートの耐火性能評価、コンクリートの体積変化に伴うひび割れ制御
教授	桂 進司	生体高分子の操作技術の開発とその工学的応用
教授	金井 昌信	地域防災、避難、災害情報、防災教育に関する実践的研究
※教授	河原 豊	バイオマス科学、バイオベースマテリアル開発、生物材料の有効利用
※教授	清水 義彦	移動床力学、河川植生と地形変化、河道動態予測手法の構築
教授	中川 紳好	燃料電池の電極反応・物質移動解析、燃料電池関連材料の開発
教授	若井 明彦	斜面災害メカニズム、地盤－構造物系の力学的諸問題、地盤数値解析
教授	渡邉 智秀	生物学的廃水処理、水環境浄化技術、用・廃水の高度処理技術、資源回収
准教授	伊藤 司	環境浄化のための微生物の制御や高活性化技術の開発、環境微生物の新機能の開拓
准教授	鵜崎 賢一	河川と沿岸域の広域土砂動態の解明、実測データと簡易モデルを用いた河川の土砂供給量の算定モデルの開発
准教授	大重 真彦	分子設計技術を用いた生体分子操作法の開発と反応プロセス解析への応用
准教授	蔡 飛	地盤と土構造物の耐震技術、地すべりの安定評価、地中熱の利用
准教授	斎藤 隆泰	応用力学、計算力学、維持管理工学、非破壊評価
准教授	佐藤 和好	セラミックス材料の高精度合成プロセス開発と固体酸化物燃料電池等への応用
准教授	野田 玲治	持続型社会のための未利用資源（廃棄物・バイオマス）のエネルギー利用技術開発、エネルギー／物質フロー解析に基づく地域社会の設計と評価
准教授	原野 安土	微小液滴浮揚装置を用いたマイクロ化学プラントの開発
准教授	樋山みやび	ホタル生物発光機構の解明とその応用
准教授	森本 英行	全固体電池および高エネルギー密度電池材料の高性能化に関する研究
客員教授	白井 裕三	エネルギー環境システム、エネルギー変換
客員教授	野田 直希	燃焼環境工学、エーロゾル工学、固体炭素資源転換工学
客員准教授	丹野 賢二	燃焼数値シミュレーション、エネルギー制御

※印の教員は2025年3月末に定年退職となります。

◆電子情報・数理教育プログラム

教員名		研究内容
教授	天野 一幸	計算量理論、アルゴリズム、機械学習
教授	尹 友	情報記録・情報処理用材料・素子・システム、人工知能素子、ナノ加工、ナノ計測
教授	奥 寛雅	ダイナミックイメージコントロール、高速画像処理、高速光学素子
教授	加藤 毅	バイオインフォマティクス、機械学習、統計解析
教授	後藤 民浩	アモルファス・ナノ材料の光・電子物性と相変化メモリー、薄膜太陽電池への応用
教授	櫻井 浩	スピントロニクス、リチウムイオン電池、X線イメージング、医用工学
教授	嶋田 香	進化計算、知識発見とデータマイニング
教授	地村 弘二	ヒトの認知神経科学、神経情報学、決定神経科学
※教授	関 庸一	データマイニング、統計的学習理論、応用データ解析
教授	曾根 逸人	ナノメートル計測制御、ナノ電子デバイス、医療用高感度バイオセンサ、結晶成長
教授	高橋 学	遷移金属化合物の磁性と電子物性の理論的研究
教授	田沼 一実	固体力学に現れる偏微分方程式における解の構造と逆問題
教授	中野 眞一	グラフアルゴリズム、情報の可視化、離散最適化
教授	長尾 辰哉	強相関電子系の物性に磁気秩序、軌道秩序が及ぼす影響の理論的研究
教授	橋本 誠司	モーションコントロール、システム同定、振動制御、精密制御、再生可能エネルギー
教授	花泉 修	光通信用デバイス、マイクロフォトニクス
教授	三輪 空司	RC構造物のレーダ計測、ドップラ応用計測、超解像イメージング
教授	本島 邦行	電波伝搬観測、電磁波を用いた非接触計測、電磁波数値解析
教授	弓仲 康史	多値情報処理システム、アナログ・ディジタル信号処理及び集積回路
※教授	渡辺 秀司	フーリエ型の積分変換と量子力学における交換関係との関連の解明とその応用
准教授	荒木 徹	グラフ理論、グラフアルゴリズム、組合せ最適化
准教授	安藤 崇央	ソフトウェア工学、形式手法、スマートモビリティ
准教授	伊藤 直史	計算機応用計測システム
准教授	大塚 岳	幾何学的運動方程式による界面の発展現象の解析
准教授	尾崎 俊二	半導体ナノ結晶、三元化合物半導体結晶の電子バンド構造と光物性
准教授	河西 憲一	待ち行列理論、通信トラヒック理論、情報通信システムの性能評価
准教授	栗田 伸幸	磁気ベアリング、磁気浮上モータ、自動制御工学、パワーエレクトロニクス ［研究休職中］
准教授	齋藤 翔太	情報理論とその機械学習への応用
准教授	鹿野 豊	理論物理学、量子計測学、データ解析
准教授	鈴木 宏輔	X線分析、後方散乱イメージング、機能性酸化物の電子状態解析、リチウム電池
准教授	鈴木真粧子	X線分光、表面・界面科学、マルチフェロイクス
准教授	髙江州俊光	ヒルベルト空間論、相対論的場の量子論、スペクトル解析・散乱理論
准教授	高橋 俊樹	磁気閉じ込めプラズマ、先進核融合発電、複雑系シミュレーション
准教授	高橋 康博	量子情報科学、量子計算量理論、量子アルゴリズム
准教授	高橋 佳孝	オプトエレクトロニクスデバイス・システムの作製と応用、光センシング
准教授	田中 勇樹	高速算術演算アルゴリズム、IoTデバイスとその制御システム、グラフ理論
准教授	千田 浩司	データプライバシー、暗号、情報セキュリティ
准教授	千葉 明人	フォトニクス、光エレクトロニクス
准教授	名越 弘文	整数論における関数の解析的性質とその応用
准教授	浜名 誠	ソフトウェア、関数型プログラミング言語、自動推論
准教授	引原 俊哉	低次元強相関電子系、量子スピン系、数値計算
※准教授	藤田 憲悦	プログラミング言語、プログラムの基礎理論、数理論理学
准教授	三浦 健太	酸化物系発光デバイス及び新規光電デバイスに関する研究
准教授	宮崎 隆史	指数型不定方程式、ディオファントス解析
准教授	守田 佳史	低次元量子系、超伝導体の理論的研究
客員教授	浅見 幸司	RF、アナログ・デジタル混在LSIの計測および試験技術
客員教授	石田 雅裕	集積回路試験技術
客員教授	岩崎 富生	分子シミュレーションとマテリアルズ・インフォマティクスによるサステナブル材料・生体適合性材料の研究
客員教授	孝橋 照生	磁気計測、スピン偏極電子顕微鏡
客員教授	齊藤 和夫	超伝導素子及び回路応用、単一磁束量子回路、界面改質型高温超伝導ジョセフソン接合と回路応用、超伝導A／D変換器
客員教授	髙井 伸和	低電圧CMOSアナログ集積回路の設計とその自動合成
客員教授	原田 研	電子顕微鏡法、電子波干渉法と電子線ホログラフィー及びそれらの物理学応用

※印の教員は2025年3月末に定年退職となります。

◆未来先端研究機構

教員名		研究内容
教授	二村 圭祐	遺伝子発現制御、遺伝子治療、腫瘍治療、DNAバーコード、次世代シークエンシング

◆食健康科学教育研究センター

教員名		研究内容
講師	藤原亜希子	共生を標的とした低環境負荷型の農業病害虫コントロール技術の開発
講師	大田ゆかり	微生物・酵素の利用技術の開発/食品機能解析

注）食健康科学教育研究センター教員の研究室を志望する場合は、あらかじめ理工学部入試・大学院係まで申し出てください。

Gunma University Graduate School Admission Policy

We seek the following applicants

We seek applicants who have academic skills and capabilities required by the graduate schools or institutes according to their programs or specialties. Applicants should be motivated to contribute to the development of society through research and practice.

1 Number of admissions

Subject	Education Program	Number of Admissions	
Science and Technology	Materials and Bioscience	69	172
	Mechanical Science and Technology (Including special programs (Note 1))	37	
	Environmental Engineering Science (Including a master programme in English in Civil and Environmental Engineering Studies (Note 2))	26	
	Electronics and Informatics, Mathematics and Physics	40	

* The number of admissions includes a few adult entrants, partner graduate school entrants, and overseas student entrants in each education program.
* Program for cultivating Global Leaders in Heavy Ion Radiotherapy, Science and Technology has been created to collaborate with Graduate school of Medicine since 2019. See page 37 for more information.

Note 1) With the adoption of the special program for the priority placement of government-sponsored foreign students by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, the special program " Education Program on Intelligence and Control for Developing Human Resources of Japanese Companies " launched in 2022. We will start accepting students in the Mechanical Science and Technology Education Program (Master's Program) and the Intelligent Mechanical Science and Technology Domain (Doctoral Program). This program accepts Japanese students as well as international students. For details, refer to page 38.

Note 2) A new Master's Programme in English in the fields of Civil and Environmental Engineering will be launched in 2024 in collaboration with Deakin University in Australia. Please refer to page 39 for a more detailed information.

Purpose of the Adult Entrance Exam

In recent years, there has been remarkable progress in science and technology, and it is essential to train creative technicians and researchers who can exercise dynamic leadership in these areas. To respond to this situation, this Graduate School has opened the way for adults currently employed at various research facilities, educational institutions, businesses, etc. to continue their training or to pursue their self re-education. This system aims to strengthen the connection between universities and society, particularly industry.

2 Application requirements

＜General Entrance Exam＞

Applicants must fulfill one of the following requirements:

(1) Having graduated from a university or expecting to graduate by the end of March 2024
(2) Having been awarded a bachelor's degree pursuant to the provisions in Paragraph 7 of Article 104 of the School Education Act (Act No. 26 of 1947) or expecting to receive one by the end of March 2024
(3) Having completed 16 years of school education in a foreign country or expecting to do so by the end of March 2024
(4) Having completed a course at an educational facility in Japan that is recognized as offering a university course in a foreign country under the school education system of that foreign country and that is separately designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology or expecting to do so by the end of March 2024 (the person must be considered to have completed 16 years of school education under the system of that foreign country)
(5) Having completed, while in Japan, 16 years of school education in a foreign country by taking a correspondence course of study offered by a school in that foreign country or expecting to do so by the end of March 2024
(6) Having been awarded a degree equivalent to a bachelor's degree by completing a course (which could be a correspondence course of study offered in Japan by a school in a foreign country or a course at an educational facility recognized as such by the school education system of the said country and designated in the item(4))with a study of three years or more at a university in a foreign country or at another school in a foreign country (limited to schools where the comprehensive education and research activities have been evaluated by a person licensed to do so by the government of the said country or by a related agency or schools that are separately designated as equivalent by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology)
(7) Having completed a post-secondary course designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology at a specialized training college (limited to a course with a period of study of at least four years and that meets the other standards established by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology) on or after the date designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology or expecting to do so
(8) Having been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Public Notice of

the Ministry of Education No. 5, 1953)

(9) Having entered a graduate school other than the Graduate School of Science and Technology pursuant to the provisions of Paragraph 2 of Article 102 of the School Education Act (Act No. 26 of 1947) and being deemed by the Graduate School of Science and Technology to have scholastic ability suitable for receiving graduate-level education

(10) Having been enrolled in a university for three years or more, having expect to be enrolled in the university for more than 3 years by the end of March 2024, having completed 15 years of school education in a foreign country, or having completed a course at an educational facility in Japan that is recognized as offering a university course in a foreign country under the school education system of that foreign country and that is separately designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (the person must be considered to have completed 15 years of school education under the system of that foreign country), as well as having achieved excellent results in subjects specified by this Graduate School

(11) Being equal or more than 22 years of age by the end of March 2024 and being recognized as having scholastic ability equal to or greater than that of a university graduate through an individual entrance qualifications assessment by this Graduate School

＜Adult Entrance Exam＞

To be eligible to take this exam, one must be, as of the end of March 2024, a technician or researcher who has worked for two years or more at the same research facility, educational institution, private company, etc. with an excellent work record. Furthermore, one must keep the same status after entrance and must fulfill one of Application requirements (1) to (11) listed above.

＜Overseas Student Entrance Exam＞

To be eligible to take this exam, one may not be a Japanese national and one must have residence status (or be expected to have residence status) such that there is no obstacle to university entry pursuant to the Japanese Immigration Control and Refugee Recognition Act. Furthermore, the person must not have permission for permanent residence in Japan and must fulfill one of Application requirements (1) to (11) listed above.

Note: Applicants who intend to apply according to Application requirement (9), (10), or (11) must submit by mail the following documents to the Admissions and Graduate School Section by June 14, 2023, so that an entrance qualifications assessment may be completed. The applicant will be notified of the results of the entrance qualifications assessment by June 23, 2023.

Documents required for entrance qualifications assessment when applying according to Application requirement (9), (10), or (11):

Documents to be presented		General	Adult	Overseas student
(1)	Entrance qualifications assessment application form (Assessment 1)	○	○	
(2)	Entrance qualifications assessment application form for overseas students (Assessment 2)			○
(3)	Statement of Purpose (Assessment 3)	○	○	○
(4)	CV (Form 2)			○
(5)	Graduation certificate	○	○	○
(6)	Academic transcript	○	○	○
(7)	Research results list (Form 5)	※○	※○	※○
(8)	Certificate of research activities (Assessment 4)	※○	※○	※○
(9)	Summary of past research (around 2,000 characters in Japanese or around 500 words if written in English)	○	○	○
(10)	Copies of academic papers (for those who have published academic papers)	※○	※○	※○

The documents indicated by an asterisk (※) are for applicable persons only.

Address for the submission of entrance qualifications assessment application forms:

Admissions and Graduate School Section, School of Science and Technology, School, Gunma University

1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, 376-8515 (TEL: 0277-30-1039,1037)

3 Applications and point of contact

(1) Flowchart of application procedure using the Internet

Step1	Access the Online registration site for Gunma University
	Gunma University Entrance examination https://www.st.gunma-u.ac.jp/graduate_exam_master/
Step2	Registration of application information
Step3	Paying entrance examination fee ※If you applying for examination fee exemption, proceed to the next step.
Step4	Print out the application form including the “Auto reply email.”
Step5	The applicants must send or bring the “printed matter of the online registration (documents you printed out in Step (4))” and “other necessary documents” to the office of Gunma University School of science and Technology within the application period.

(2) Application and Payment period

Online registration and payment period	8:30am, June 26 (Mon) – 5:00pm, July 13 (Thu), 2023
Application period （Deadline for documents to be submitted in writing）	July 3 (Mon) - July 13 (Thu), 2023

The applicants must send the necessary documents no later than July 13 by registered and express mail to complete the application procedure.

※Whenever sending the documents from overseas, use a method that has track and trace services, such as EMS (Express mail) and write down “APPLICATION DOCUMENTS” in red on the front side of the envelope.

(Address for the submission of applications and point of contact)

Admissions and Graduate School Section, Graduate School of Science and Technology, Gunma University
1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, Gunma 376-8515 (TEL: 0277-30-1039,1037)

(3) Payment of the entrance examination fee

Examination fee: 30,000 yen

※Overseas students who are funded by the Japanese Government Scholarship at the time of application are exempted from payment of the examination fee. In this case, a document must be submitted to prove this status.

Payment should be made in one of the following ways.

1. Payment at convenience store (you should have a PC, smartphone, etc.)

① Please make payment according to “How to make a payment of examination fee at convenience store or by credit card” on page 40. Please note that the payee is responsible for any payment commission charges.

② After making payment, please detach the “Payment certificate” on the “Entrance examination fee/screening fee handling document” obtained at the cash register and attach it to the designated section on the attached form (Form 3).

2. Payment by credit card (you should have a PC, smartphone, printer, etc)

① Please make payment according to “How to make a payment of examination fee at convenience store or by credit card” on page 40. Please note that the payee is responsible for any payment commission charges.

② After making payment, please print the “Entrance examination fee/screening fee handling document,” detach the “Payment certificate,” and attach it to the designated section on the attached form (Form 3).

※As a general rule, examination fees cannot be refunded.
However, if the applicant does not apply to Gunma University after submitting the examination fee, or if the application is not accepted due to a problem with the documents, or in cases in which an amoun

greater than the specified amount is transferred due to a duplicate payment or for other reasons, a refund will be made pursuant to the following procedures. Bank transfer charges shall be deducted from the refunded amount. For a refund, on a piece of paper, write the following details (A to E) as an Examination fee refund application, which should be mailed to the School of Science and Technology Accounting Section.

A. Reason for refund request
B. Full name
C. Address and postal code
D. Contact telephone number
E. Applied education program

Address for refund requests:
Accounting Section (Kaikei-gakari) School of Science and Technology, Gunma University
1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, Gunma, 376-8515
TEL: 0277-30-1068

(4) Exemption from the examination fee for applicants affected

As a special provision, applicants affected by disasters, such as the Great East Japan Earthquake or typhoons, are exempted from the total amount of the examination fee.

[Eligibility for examination fee exemption]

1. Special provisions related to the Great East Japan Earthquake

① An applicant affected by the Great East Japan Earthquake in the region in which the Disaster Relief Act applies and to whom any of the following apply:
(a)An applicant with regard to whom the home owned by the person paying his or her school fees was either completely destroyed, mostly destroyed, partially destroyed, or washed away
(b)An applicant with regard to whom the person who would have been responsible for paying his or her school fees has died or is missing

② An applicant for whom the home residence of the person paying his or her school fees is in the designated "Restricted area," "Planned evacuation area," "Difficult-to-return zone," "Restricted residence zone," or "Zone in preparation for the lifting of the evacuation order" due to the incident that occurred at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant

2. Special provisions related to typhoons

① An applicant affected by a typhoon or other disaster, in a region in which the Disaster Relief Act applies, that occurred within one year of the application deadline and to whom any of the following apply:
(a)An applicant with regard to whom the home owned by the person paying his or her school fees was either completely destroyed, mostly destroyed, partially destroyed, or washed away
(b)An applicant with regard to whom the person who would have been responsible for paying his or her school fees has died or is missing

② Regarding the "Regions subject to the Disaster Relief Act" for disasters, such as typhoons, as specified by this University, please refer to the University website (admission information > tuition/scholarship).

Applicants to whom the above information applies should download the "Application for exemption from examination fee" from the university website (admission information > tuition/scholarship) and enclose the relevant documents along with the application documents. For inquiries about the submission of documents, please contact the Admission Section, Gunma University between 8:30 a.m. and 5:15 p.m. on weekdays.
(TEL: 027-220-7149)
URL : https://www.gunma-u.ac.jp/

(5) Application documents

Entrance applicants should submit the following documents to the university by the designated date.
Please be aware that if the documents are incomplete, you may not be able to accept the application.

	Documents to be presented	Who should submit	Summary
①	Auto reply email	All	Print and submit automated reply e-mail sent after online registration.
②	Photograph sheet	All	Form designated by Gunma University (Form 1) Prepare your photograph, write your name and Education program, and paste it.

	Documents to be presented	Who should submit	Summary
③	Academic transcript (*)	All	This is an official form issued by the previous school. (original) Copies are not acceptable. ※Please attach a translation into Japanese or English if the document is written in a language other than Japanese or English. (If possible, the translation should be done by the previous school.)
④	Graduation certificate or Certificate of expected graduation (*)	All	This is an official form issued by the previous school. (original) Copies are not acceptable. This is not required if the applicant is expecting to graduate from the Faculty of Engineering or the School of Science and Technology at Gunma University. ※Please attach a translation into Japanese or English if the document is written in a language other than Japanese or English. (If possible, the translation should be done by the previous school.)
⑤	Certificate of degree conferral or Certificate of expected degree conferral	Applicants applying based on Application requirement (2)	Applicants who are applying on the basis of Application Requirement (2) and who have been awarded a bachelor's degree should submit a Certificate of degree conferral officially issued by the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education. Applicants who are expecting degree conferral should submit a Certificate of expected degree conferral officially issued by his or her currently enrolled school.
⑥	Acceptance for entrance exam	Adult Entrance Exam	Form designated by Gunma University (Form 4)
⑦	Research results list (*)	Adult Entrance Exam	Form designated by Gunma University (Form 5) (These details may also be submitted on a sheet of A4 paper)
⑧	Reason for application	General entrance exam and Overseas students	Form designated by Gunma University (Form 6) (These details may also be submitted on a sheet of A4 paper; maximum of 1,000 characters in Japanese or 250 words if written in English)
⑨	Reason for application and Research plan	Adult Entrance Exam	Form designated by Gunma University (Form 7) (These details may also be submitted on a sheet of A4 paper; maximum of 1,000 characters in Japanese or 250 words if written in English)
⑩	CV (*)	Overseas students	Form designated by Gunma University (Form 2)
⑪	Confirmation of nationality and residence status	Overseas students	Residence certificate copy (Individual number not shown) stating nationality, residence status and period of stay as issued by the municipal mayor, or passport copy (showing full name, nationality, residency status, and period of stay), etc. ※If you do not have any address in Japan , you can submit a copy of your Passport(page of Facial photograph), and submit a copy of Residence certificate in the period of admission procedures.
⑫	TOEFL-PBT, TOEFL-ITP, TOEFL-iBT score (taken on or after October 2020)	All (Choose one from TOEFL, TOEIC or IELTS)	Please submit the original and an A4 copy of the score issued to the applicant (Test Taker Score Report or Score Card). Only TOEFL-ITP scores for the tests conducted by Gunma University may be used. The original will be returned along with the exam entrance ticket.
⑬	TOEIC Listening & Reading Test (taken on or after October 2020)		Please submit the original and an A4 copy of the Official Score Certificate. The original will be returned along with the exam entrance ticket.

	Documents to be presented	Who should submit	Summary
⑭	TOEIC Listening & Reading Test(IP） score (limited to TOEIC Listening & Reading Test(IP)conducted by Gunma University on or after October 2020)		Please submit the original and an A4 copy of the TOEIC-IP Score Report for the tests conducted by Gunma University. The original will be returned along with the exam entrance ticket.
⑮	IELTS score (taken on or after October 2020)		Please submit the original and an A4 copy of the score (Test Report Form) addressed to the applicant. The original will be returned along with the exam entrance ticket.
⑯	Certificate of Examination fee transfer	All	Form designated by Gunma University (Form 3) Paste “Certificate of payment” (receipt) on the prescribed place.
⑰	Exam entrance ticket mailer	Residents of Japan	A self-addressed business envelope with a 344-yen stamp attached. The envelope size must be 120 mm x 235 mm, called “Nagagata #3(長形3号)” in Japan.

Notes: **1. Applicants who have passed the entrance qualifications assessment are not required to submit documents marked with an asterisk (*) in the “Documents to be presented” column.**
2. No changes will be permitted after the university receives an application.

(6) How to submit application documents

When mailing, please send it by simple registered mail using an envelope that can be put in without folding the document of A4 size.

※However, if you are sending mail from overseas, please use a trackable shipping method such as EMS(International Speed Mail) and write "APPLICATION DOCUMENTS" on the top of the envelope.

(7) Exam entrance ticket

When the online registration and the contents of the application documents delivered to the University are confirmed and the application is accepted, the ticket will be sent by exam entrance ticket mailer by July 26. Bring your ticket on the day of the examination.

For overseas applicants, the ticket will be sent by email by July 26 (PDF). Print out your ticket on A4 paper, and bring it on the day of the examination.

* After arrived the ticket, check that the name of the examinee is the same as the application. If there is an error in the description, or if the exam entrance ticket (In the case of overseas applicants: e-mail) does not arrive after July 26, please contact the following.

【Address for the submission of applications and point of contact】
Admissions and Graduate School Section, Graduate School of Science and Technology, Gunma University
1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, Gunma 376-8515(Tel: 0277-30- 1039,1037)
E-mail : t-gakumu@jimu.gunma-u.ac.jp

4 Prior consultation for applicants with disabilities

Please consult Gunma University in advance before applying if special considerations are required with regard to the examination or for university study due to disabilities.

(1) Consultation period

The period ends on June 23, 2023, but we would encourage you to consult the university as soon as possible.

(2) Consultation process

Please submit the Consultation form designated by the Graduate School of Science and Technology (refer to our website: https://www.st.gunma-u.ac.jp/graduate_exam_master/) and attach the necessary documents, such as a medical certificate issued by a doctor. If necessary, an interview with the applicant or an authorized representative may be conducted.

(3) Contact address

Admissions and Graduate School Section, Graduate School of Science and Technology, Gunma University
1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, Gunma 376-8515(Tel: 0277-30- 1039,1037)

5 Screening process

(1) General Entrance Exam (including partner graduate schools) and Overseas Student Entrance Exam
A decision will be made on the basis of the overall results, including the academic achievement test (core subjects and specialized subjects), document assessment, and an interview.

(2) Adult Entrance Exam
A decision will be made on the basis of the overall results, including document assessment, an oral exam, and an interview. The oral exam is conducted with regard to professional career history, research plans, graduation thesis, and academic specializations in subjects related to the applicant's research field. An interview will also be conducted on the basis of the documents submitted.

(3) Exemption from academic achievement test and interview in the Overseas Student Entrance Exam

(a)Exemption from academic achievement test and oral exam for residents of other countries
With regard to the Education program of Mechanical Science and Technology and the Education program of Environmental Engineering Science, overseas applicants whose qualification for entry into a Master's Program is recognized on the basis of particularly superior academic ability as evidenced in the documents submitted shall be exempted from the academic achievement test and the interview. The applicant shall be notified of his or her exemption from these requirements by several days before the exam date.

(b)Exemption from academic achievement test for residents of Japan
With regard to the Education program of Mechanical Science and Technology and the Education program of Environmental Engineering Science, domestic applicants whose qualification for entry into a Master's Program is recognized on the basis of particularly superior academic ability as evidenced in the documents submitted shall be exempted from the academic achievement test. The applicant shall be notified of his or her exemption from the test by several days before the exam date.

(4) Submission of TOEFL, TOEIC, or IELTS scores for foreign language (English) test

(a)Foreign language (English) tests are assessed by the submission of score from one of the following: TOEFL-PBT, TOEFL-ITP (conducted by Gunma University), TOEFL-iBT, TOEIC public test, TOEIC-IP (conducted by Gunma University), or IELTS. A foreign language (English) test shall not be administered on the same day as the Entrance Exam.
Please refer to (12) to (15) (page 28) of "(5) Application documents" above regarding the score submission method.

(b)Conversion of Test Scores
Foreign Language (English) test scores shall be converted from standardized tests according to the formula given below. The full score is 100. A converted score below 0 will be counted as 0; a converted score greater than 100 will be counted as 100. The first decimal point will be rounded off to the nearest whole number.

TOEFL-PBT and TOEFL-ITP	Converted score = 0.398 x (TOEFL-PBT/TOEFL-ITP score) − 123.6
TOEFL-iBT	Converted score = 1.2 x (TOEFL-iBT score) + 1.0
TOEIC	Converted score = 0.139 x (TOEIC score) − 6.3

Examples of test score conversions

English test conversion	40	50	60	70	80	90	100
TOEFL-PBT TOEFL-ITP	411	437	461	487	512	537	562 or more
TOEIC	333	405	477	549	621	693	765 or more

English test conversion	41	50	60	71	80	90	100
TOEFL-iBT	33	41	49	58	66	74	83 or more

The IELTS (Academic Module) shall be converted as follows.

English test conversion	22	31	40	50	59	68	77	87	96	100
IELTS (Academic Module)	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5 or more

6 Examination subjects

＜General Entrance Exam (including partner graduate schools)/Overseas Student Entrance Exam＞

Education Program	Exam Subject Field	Exam Subjects			
		Foreign Language (English)	Core Subject	Specialized Subjects	Interview
Materials and Bioscience		TOEFL TOEIC IELTS Submission of score from one of the above*	Answer all four questions for each field below (highlighting the degree of basic understanding). 1. Organic Chemistry 2. Inorganic and Analytical Chemistry 3. Physical Chemistry 4. Biology and Biochemistry	Answer 5 of 12 questions in the fields below (three questions for each, highlighting the degree of specialized understanding). 1. Organic Chemistry 2. Inorganic and Analytical Chemistry 3. Physical Chemistry 4. Biology and Biochemistry	Fundamental specialized knowledge interview -Personality test -Academic motivation -Research motivation
Mechanical Science and Technology		TOEFL TOEIC IELTS Submission of score from one of the above*		Choose four of the following subjects including the contents of mathematics and physics (choose three subjects for the Overseas Student Entrance Exam): 1. Mechanical Materials 2. Thermodynamics 3. Fluid Mechanics 4. Mechanics of Materials 5. Mechanical Dynamics 6. Control Engineering 7. Information Engineering	Fundamental specialized knowledge interview -Personality test -Academic motivation -Research motivation
Environmental Engineering Science Please select one of the exam subject fields shown on the right when applying.	Chemical and Environmental Engineering	TOEFL TOEIC IELTS Submission of score from one of the above*	The exam range includes the following subjects: -Physical Chemistry -Organic Chemistry -Inorganic Chemistry -Microbiology -Materials Science -Basic Chemical Engineering (Material and Energy Balance)	The exam range includes the following subjects: -Separation Engineering -Reaction Engineering -Electrochemistry -Chemical Thermodynamics -Transport Phenomena -Process and Systems Engineering	Fundamental specialized knowledge interview -Personality test -Academic motivation -Research motivation

<table>
<tr><td></td><td>Civil and Environmental Engineering</td><td></td><td>Mathematics and Physics (highlighting degree of basic understanding)</td><td>Choose three of the following subjects:
1. Structural Engineering
2. Geotechnology
3. Hydroengineering
4. Environmental Engineering
5. Urban Engineering</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">Electronics and Informatics, Mathematics and Physics
Please select one of the exam subject fields shown on the right when applying.
Selection should be made after consulting with the first-preferred academic advisor.</td><td>Electronic Engineering</td><td rowspan="3">TOEFL
TOEIC
IELTS
Submission of score from one of the above*</td><td colspan="2">Choose two of the following subjects:
1. Mathematics
2. Physics
3. Electromagnetism
4. Electric Circuits
5. Electronic Circuits</td><td rowspan="3">Fundamental specialized knowledge interview
-Personality test
-Academic motivation
-Research motivation</td></tr>
<tr><td>Information Science</td><td colspan="2">The test comprises short questions to Evaluate
Basic knowledge and mathematical thinking in the following two fields:
1. Basic Mathematical Science
2. Basic Information Science</td></tr>
<tr><td>Mathematical Science</td><td colspan="2">Aptitude Test for Mathematics</td></tr>
</table>

＜Adult Entrance Exam＞

Subjects / Education Program	Foreign Language (English)	Oral Exam and Interview
All education programs	Submission of score from either TOEFL or TOEIC*	The oral exam will cover professional career history, research plans, graduation thesis, and academic specializations in subjects related to the applicant's research field. An interview will also be conducted on the basis of the documents submitted.

*Note: Only test scores achieved in or after October 2020 may be submitted for the following tests: TOEFL-PBT, TOEFL-ITP (conducted by Gunma University), TOEFL-iBT, TOEIC public test, TOEIC-IP (conducted by Gunma University), IELTS

7 Examination schedule and location

＜General Entrance Exam/Overseas Student Entrance Exam＞

(1) Examination date: Friday, August 25, 2023

(2) Location: Gunma University School of Science and Technology Kiryu Campus (refer to Examination Location Information).
Notification as to specific examination rooms will be posted on campus by the day before the examination.

(3) Examination timetable

Education program	Exam subject field	August 24 Timetable
Materials and Bioscience		8:40 Core Subjects 12:00 / 13:15 Specialized Subjects 15:30 / 16:00 Interview 18:00
Mechanical Science and Technology		9:45 Explanations 10:00 Specialized Subjects 12:00 / 13:15 Explanations 13:30 Interview 15:30
Environmental Engineering Science	Chemical and Environmental Engineering	9:45 Explanations 10:00 Core Subjects 11:30 / 13:00 Specialized Subjects 15:00 / 15:10 Interview 16:30
	Civil and Environmental Engineering	9:45 Explanations 10:00 Core Subjects 11:30 / 13:00 Specialized Subjects 15:00 / 15:10 Interview 16:30
Electronics and Informatics, Mathematics and Physics	Electronic Engineering	9:45 Explanations 10:00 Core Subjects and Specialized Subjects 13:00 / 14:00 Interview 16:30
	Information Science	9:45 Explanations 10:00 Core Subjects and Specialized Subjects 11:30 / 13:30 Interview 16:30
	Mathematical Science	13:15 Explanations 13:30 Aptitude Test for Mathematical Science 15:30 / 16:00 Interview 18:00

(4) Important points regarding the examinations

(a) If an applicant arrives late due to unavoidable circumstances, he or she will be admitted up to 30 minutes after the start of the examination. However, the examination time will not be extended.

(b) Watches that have any function other than to display the time are not permitted.

(c) Mobile telephones, smartphones, equipment that emits a sound, recorders (ex. IC recorders), and similar devices are not permitted. Please ensure that you turn off any alarms, turn off the power, and leave such equipment in your bag.

(d) In the examination of Materials and Bioscience education program, it is not permissible to bring calculators, rulers, and compasses into the examination room. A calculator will be provided during the examination.

(e) In the examination of Mechanical Science and Technology education program, calculators (excluding calculators with program memory), rulers, and compasses may be brought into the examination room.
(f) In the examination of Environmental Energy field, it is not permissible to bring calculators into the examination room. A calculator will be provided during the examination. Rulers and compasses may be brought in.
(g) In the examinations of Social Infrastructure and Disaster Prevention field and Electronics and Informatics, Mathematics and Physics education program, it is not permissible to bring calculators, rulers, and compasses into the examination room.
(h) The examination time in Materials and Bioscience education program includes a period of time for providing an explanation of the exam.

＜Adult Entrance Exam＞

(1) Examination date: Friday, August 25, 2023

(2) Location: Gunma University School of Science and Technology Kiryu Campus
(refer to Examination Location Information).
Notification as to specific examination rooms will be posted on campus by the day before the examination.

(3) Examination time:

Time / Education program	13:30	17:00
All education programs	Oral exam and interview	

8 Announcement of successful applicants

A notification of successful exam completion will be mailed to successful applicants on September 5, 2023. In addition, the exam participation numbers of successful applicants shall be published on the Gunma University School of Science and Technology website from 11:00 a.m. on the same day through September 22. Notification will not be made on the university campus.

No information on examination results can be provided by telephone.

URL: https://www.st.gunma-u.ac.jp/

9 Admission procedure

The admission procedure schedule will be notified separately.

(1) Expenses required for admission:

Admission fee: 282,000 yen

(Note) a. If the admission fee has been revised at the time of your admission, the revised fee amount will apply.
b. Information on delivery methods for admission fees will be provided through a separate notification.
c. Paid admission fees cannot be refunded for any reason.

(2) Payments required after admission

Tuition fee: First semester 267,900 yen; Annual 535,800 yen

(Note) a. If tuition fee has been revised at the time of your admission or during your time of study, the revised tuition fee amount will apply.
b. Information about the delivery methods for tuition fee will be provided a separate notification.
c. If desired, tuition fee (either the first semester's or the full year's fee) can be paid while paying your admission fee.
d. If students who have completed the admission procedures and have paid the tuition fee decline the admission by Friday, March 29, 2024, the paid tuition fee will be refunded at the request of the student, following specified procedures.

(3) Other expenses

In addition to the admission fee and tuition fee, the following expenses apply:

Personal accident insurance for students pursuing education and research:	1,750 yen
Liability insurance for students pursuing education and research:	680 yen
(The above two expenses are a mandatory set, totaling	2,430 yen)
School association membership fee:	10,000 yen
	Total: 12,430 yen

(Note) In addition to these fees, there is Gunma Daigaku Kogyokai (Alumni Association) membership fee of 50,000 yen for applicants who are not already its members, totaling 62,430 yen. With regard to the payment method, please pay by postal transfer at a Post Office using the payment handling form provided after the admission procedure.

(4) Admission fee exemption/payment deferment and tuition fee exemption/payment deferment

○Certain students for whom the payment of school expenses is considered to be exceptionally difficult due to special circumstances may be exempted from paying of the admission fee or tuition fee.
Furthermore, students for whom paying the admission fee or tuition fee by the fixed deadline is considered to be difficult, a temporary payment deferment may be obtained.

○Students who were victims of the Great East Japan Earthquake and for whom the payment of school expenses is considered to be exceptionally difficult may be exempted from the admission fee or the tuition fee. If you wish to apply for this exemption, please consult "Admission information" on the Gunma University website (https://www.gunma-u.ac.jp/).
Point of Contact: Student Support Section, Gunma University School of Science and Technology,
TEL: 0277-30-1042, 1047

(5) Scholarships

To assist students with excellent character and academic results and for whom study is considered to be difficult due to economic reasons, the Japan Student Services Organization and others offer scholarships and loans for academic support.
If you wish to apply for the scholarships, please consult "Admission information" on the Gunma University website (https://www.gunma-u.ac.jp/)
Point of Contact: Student Support Section, Gunma University School of Science and Technology,
TEL: 0277-30-1042, 1024

10 Academic year

The academic year starts on April 1 of each year and ends on March 31 of the following year.

11 Special education methods

The following special education methods may be applied to students admitted through the Adult Entrance Exam, if requested.

○Special education methods as established in Article 14 of the Standards for Establishment of Graduate Schools
Article 14 of the Standards for Establishment of Graduate Schools stipulates considerations for adult education as follows: "In a postgraduate course, appropriate education methods, such as classes or research guidance at night or at other specified time/period, may be provided when it is recognized that a special educational need exists."

The following is the outline.

1. Study method

A study plan will be drawn up after the application for special methods has initially been proposed to the supervisor.
In general, classes are taken according to the standard timetable in the first year. In the second year, up to 10 credits can be taken according to the special method.
Please obtain approval to submit this application from the Admissions and Graduate School Section and supervisor (preferred academic advisor) before submitting the application documents.

2. Timetable

Instruction according to the special method is provided at the following times:
Weekdays, 5:35 p.m. to 7:05 p.m.
Saturdays, 8:40 a.m. to 3:50 p.m.
Instruction and research can also be conducted during the summer and winter vacation periods, if necessary.

3. Other

Please contact the Admissions and Graduate School Section regarding the application method and any other questions.

○Extended study period system

In 2008, based on Article 16-2 of the Gunma University Graduate School Regulations, the Graduate School of Science and Technology introduced a system of extended study periods for students who cannot complete the course without extending the standard course length (two years for the Master's Program and three years for the Doctoral Program). This is because they have limited time available for instruction and research due to employment or other factors. This system enables completion of the planned curriculum and acquisition of a degree following advance approval to enroll for an extended study period that exceeds the standard course length. To use this system, students must submit an application, which will be assessed for approval.
Under this system, the study period can be extended to up to four years for a Master's Program and up to six years for a Doctoral Program.

12 Overseas Student Entrance Exam guidelines

(1) Applicants are requested to take ~~a~~ preparatory English and Japanese courses.

(2) The International House is an accommodation exclusively for overseas students. Applicants who would like to be accommodated here should submit an application for accommodation to the Student Support Section of the School of Science and Technology after the examination results have been announced. Accommodation is provided following a screening process.

Point of contact: Student Support Section, Gunma University School of Science and Technology,
TEL: 0277-30-1023, 1024

13 About the Protection of Personal Information

Gunma University utilizes Personal Information of applicants or examinees collected from submitted application documents, screening process in entrance examination, and admission procedures. The Personal Information will be used only for following purposes in accordance with "Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies in Gunma University".

- ○ In all process of screening applicants for admission (including related operations, such as statistical process).
- ○ As enrolled students data, to collect tuition fees from enrolled students who have completed the admission procedures. It also might be used in necessary case of the students need advice on curriculums, course or any other support on campus life.
- ○ Surveys and research conducted for the purpose of university management (Includes research to improve entrance examination, survey and analysis of applicants trends or preparation of statistical data.)

In addition, in case of publish the statistical surveys or research result, the data will be used are unable to identify an individual's.
Please note that part of above operations may be outsourced to an agency under the contract concerning the appropriate handling of personal information.

English available

Student Support Section (*Gakusei shien kakari*)
School of Science and Technology, Gunma University
1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, Gunma
376-8515 JAPAN
Tel: (0277) 30- 1023,1024
Fax: (0277) 30-1041
E-mail: t-gakuseisien@jimu.gunma-u.ac.jp

Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Radiotherapy, Science and Technology
(Course for Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Radiotherapy, Science and Technology)

As a treatment method that is able to reduce the burden on the body and provide a high QOL (quality of Life), heavy ion radiation therapy is expected to be important in the future. Gunma University is the only university with a PhD graduate course that has a heavy ion therapy equipment, making it the only university that can provide education research, and human resource training in heavy ion radiation therapy.

Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Radiotherapy, Science and Technology has been created to collaborate with Graduate School of Medicine since 2019.

The number of applicants around two. After enrolling in the master's program, applicants for this program will have a separate examination in September.
This program is a five-year course combined the master's program and doctoral program.

In this degree program, we have established Leading Heavy Ion Radiotherapy, Science and Technology Collaborative Course that integrates medicine and engineering as part of Graduate school of Medicine and Graduate school of Science and Technology. In this way, this program aims to train leaders in the fields of radiation oncology, engineering physics, and medical biology that can function anywhere in the world with an excellent disposition and that have the skill to lead the interdisciplinary advanced medical field of heavy ion therapy across fields of expertise. This course also aims to train research and development leaders in companies developing advanced heavy ion therapy equipment.

Medical Physics Course
In "heavy ion radiotherapy" using high-energy carbon rays and "IMRT" using X-rays, which are advanced radiotherapy, medical physics researchers and clinical practice who develop and pass on the knowledge of medical physics. Human resources of medical physicists who are active in the field are indispensable. Therefore, we set up a medical physics course in the heavy ion beam medical science and engineering cooperation course to learn both the basics of heavy ion beam medicine and biology, advanced clinical research of heavy ion beam, and development and operation technology of advanced medical equipment, and their characteristics. Comprehensive operation and development of domestic and overseas radiation / heavy ion beam research bases, heavy ion beam therapy facilities, heavy ion beam therapy, or international guidance in the advanced medical device development industry, depending on the central academic field. We train specialists in the field of medical physics who can become people.

《For more information》
Admissions and Graduate school Section
School of Science and Technology, Gunma University
(Program for Cultivating Global Leaders in Heavy Ion Radiotherapy, Science and Technology)
1-5-1 Tenjin-cho, Kiryu, Gunma
376-8515 Japan
TEL:0277-30-1037
Email: t-gakumu@jimu.gunma-u.ac.jp

Special program " Education Program on Intelligence and Control for Developing Human Resources of Japanese Companies"

This program started in 2022 by adopting the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology's "Special Program for Priority Placement of Government-sponsored Foreign Students". Interested applicants should select the domain of Mechanical Science and Technology (doctoral course) and apply for the "special program" before taking the admission examination.

<< Summary of the program >>

The program aims to acquire excellent international students and develop them into human resources who will be involved in the next-generation intelligence and control technical profession at the forefront of Japanese companies. The international students will acquire expertise in next-generation intelligence and control, including mechatronics, automatic control, artificial intelligence, and data science. They will participate in project research to put them into practice and develop Japanese-style R&D capabilities. In addition, the program will provide preferential treatment for Japanese language education, corporate internships, etc., to support employment in Japanese intelligence and control technology-related companies.

This program accepts both Japanese students and international students.

This program focuses on the mechatronics and intelligence/control fields, which are the strengths of the university's Mechanical Science and Technology department, the hosting department of the program. The contents of education and research are based on the premise of collaboration with Japanese students by forming buddies. Each of the agreement schools planning to recruit undergraduate students must have departmental strengths in science and technology and can hold joint symposiums with Gunma University, project activities for regional innovation, and formulate collaborative research. By participating in these, Japanese students of our university will have the opportunity to grow through collaboration with experts from other countries.

Reference URL: https://program-on-control.mst.st.gunma-u.ac.jp/

English-based Graduate Degree Programme
" Master's Programme in Civil and Environmental Engineering"
[Announcement]

A two-year all-English graduate master's degree course, started from AY 2024-2025.

- Features

  1. Courses taught in English

  Courses and research activities are instructed in English. Students are also allowed to take certain courses in the Doctoral Civil & Environmental Engineering programme for their in-depth knowledge of subject matters. A dissertation can be written in English.

  2. Research/laboratory internships abroad

  Students are encouraged to apply for a 3-month research/laboratory internship programme under the joint supervision of Gunma and partner universities.

- Curriculum, requirements for completion

  https://www.facebook.com/GunmaCEE/

GUNMA UNIVERSITY

How to make Payment of Examination Fee at Convenience Store or by Credit Card

Now you can transfer funds to pay for your entrance examination - 24 hours a day -
from your nearest Lawson, Ministop, FamilyMart, Seven-Eleven or Credit Card.

1 Advance Web Application

Visit the payment site homepage from your computer or cell phone at:

https://e-shiharai.net/

※You can not correct or cancel anything once your credit card payment has been made.
Please check all your information carefully before you confirm the application.

※If you input the wrong information when trying to obtain your application number, please start again from the beginning and make your payment.
If you are not able to make the required payment before the due date you will receive this deadline upon completing the online application, all the information you had input will be canceled automatically.

2 Convenience Store Payment

The application fee cannot be paid through an ATM.
Be sure to make your payment at the cash register.

Credit Card Payment

7-ELEVEN

[13-digit Payment Slip Number]
払込票番号

Tell the counter staff
that you want to
make an
"Internet shiharai."
Then provide your Payment
【払込票番号】
Payment Slip Number

A multifunction copier can not be used to make payment.

●Make the payment at the register.
●Receive an Application Fee Statement.
Detach the Certificate of Payment (receipt) portion.

LAWSON / MINI STOP

[11-digit Customer Number]
お客様番号
[4-digit Verification Code]
確認番号

Loppi

Touch the "各種サービスメニュー" option
Various Service Menus

Select the "各種代金・インターネット受付"
All Payments・Internet Reception
button on the touch screen

Touch the "各種代金お支払い" option
All Payments

Touch "マルチペイメントサービス"
Multi-Payment Service

Enter your 【お客様番号】【確認番号】
Customer Number Verification Code

●Loppi, FamiPort, or K-Station issues a funds transfer receipt.
You will need to take this to the cash register within 30 minutes and make the actual payment.
●Receive an Application Fee Statement. Detach the Certificate of Payment (receipt) portion.

FamilyMart

[11-digit Customer Number]
お客様番号
[4-digit Verification Code]
確認番号

Famiポート

Select the "代金支払い" button
All Payments
on the touch screen

Touch the "各種代金お支払い" option
All Payments

"番号入力画面に進む"
Advance to the "Entering number" page

Enter your 【お客様番号】【確認番号】
Customer Number Verification Code

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS

It is possible to use a card which carries a name different from that of the applicant. However, please make sure that the information on the basic information page is the applicant's information.

Please select "credit card" for the payment method when making your Web application.

Input your card information.

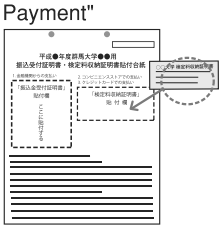
All of your application information is displayed. Check and Click "確定".
Confirm

Payment has been completed.
Prease write down "受付番号"
Receipt Number
Please print out your "収納証明書"
Certificate of Payment

3 Application

【Paying at Convenience Store】

Affix the receipt portion to "The Certificate of Payment" in the designated location.



Attach Your (Certificate of Payment) to the Application

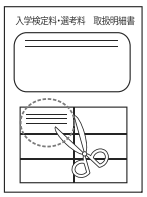
※When attaching the certificate of payment, be sure to use glue which is suitable for use with thermal paper and pressure-sensitive paper. Please check the glue label.

※In the case that you have made your payment at Convenience Store, it is not necessary to enclose a bank receipt of any kind.

【Paying by Credit Card】

After making your payment,please make sure you have access to a printer with paper(A4).
Access "申込内容照会"(Inquiry) at e-shiharai.net.

Please「1. Check your card.」「2. Input Receipt Number.」「3. Input your Birth Date.(YYYY/MM/DD)」, and click "照会する".
Then all of your application information is displayed.
Click Blue-button "証明書を発行する".
Affix the cutting portion of "収納証明書"(The Certificate of Payment) in the designated location.
Enclose in an envelope with all other necessary application documents.



In the case that you have made your payment using a credit card, it is not necessary to enclose a bank receipt of any kind.

●During payment periods and application periods mentioned in the application documents, you can make a payment anytime.
Please confirm from application documents and complete payment in time for the application period.

●On the last date of the payment period, the web application will be closed at 5pm, and the final deadline for the information terminal at convenience stores (Loppi, Fami Port, or K Station) will be at 5 pm.

●Your inquiry about the payment of the entrance examination fee is not able to be handled at the convenience store. For further information, please check our website.

●Please note that refund is not possible once you have made a payment of Entrance examination fee.

●A fee is added to Examination fee. For further info, please visit our website.

●Please directly contact the credit card company if your card is not accepted.

●It will be announced on our website if either the convenience stores which handle payments or the methods of payment,are changed.

Gunma University
Graduate School of Science and Technology Master's Program
Faculty Members and Field of Specialization

※Please make sure to receive an approval for acceptance from the supervisor before applying.

◆Education Program of Materials and Bioscience

Faculty Members	Fields of Specialization
Professors	
Naoki Asakawa	・Bio-inspired devices using emergent property found in polymers
Motoko S. Asano	・Photophysics and design of photofunctional composite molecular systems including coordination compounds
Hideki Amii	・Development of synthetic organic reactions and their applications
Yusuke Inoue	・Functional analysis of the liver-enriched nuclear receptors using gene-targeted mice
Hiroki Uehara	・Development of property and functionality of polymeric materials by drawing techniques
Masafumi Unno	・Organosilicon and organic heteroatom chemistry: molecular design, synthesis, and application
Md. Zakir Hossain	・Chemical modification of epitaxial graphene on SiC substrate
Tetsuo Okutsu	・Physical chemistry, photochemistry and crystal growth
Hiroaki Ozaki	・Development of modified nucleic acids and its application
Ken-ichi Kasuya	・Structure and function of polyester-degrading enzymes, screening of microorganisms involved in the environmental cleanup
Toru Kyomen	・Solid state chemistry and design of functional oxides
Kiichi Sato	・Development of micro bioanalysis systems
Soshi Shiraishi	・Development of carbon-based nanoporous materials and electrochemical capacitors
Yoshihiro Sumiyoshi	・Studies on molecular structures of transient species and complexes consisting of radicals
Masashi Sonoyama	・Biomolecular science, Biophysical chemistry of proteins, Biospectroscopy, Bioinformatics
Hiroshi Takahashi	・Structural analysis and thermal study of model biomembranes
Shigeki Takeda	・Functional analysis of receptors, characterization and application of protein self-assembly
Yosuke Nakamura	・Construction and properties of novel π-conjugated systems including fullerene chemistry and supramolecular chemistry
Minoru Hanaya	・Development and characterization of functional solid-state materials
Jun-ichi Fujisawa	・Studies of organic-inorganic hybrid materials for light energy conversions
Ichiro Matsuo	・Glycoscience, Glycotechnology, Synthetic study of glycoconjugates
Takako Muraoka	・Studies on unique ligands with heavier typical elements and their transition metal complexes
＊ Takao Yamamoto	・Statistical physics
Associate Professors	
Shinji Iwamoto	・Solvothermal synthesis of inorganic materials and their performance as catalysts autoantigens, advanced functional foods for prevention of diseases
Hiroyuki Oku	・Synthetic vaccines and diagnosis material; biofunctional chemistry; biomedical and functional polymers
Takafumi Shimoaka	・Physical chemistry and vibrational spectroscopy on molecular aggregation systems
Ken-ichiro Kanno	・Synthesis and properties of novel organosilicon compounds using transition-metal complexes
Tsuyoshi Takahashi	・Construction and application of functional molecules using peptide and protein engineering
Nobuhiro Takeda	・Synthesis of metal complexes bearing new ligands for the purpose of activating small molecules
Hiroyuki Takeda	・Functionalization of First Transition Metal Complexes Intending Artificial Photosynthesis
Hiroyuki Takeno	・Self-assembling structure and dynamics of multicomponent polymer systems
Yuya Tachibana	・Development of biobased and biodegradable polymers
Yuya Domoto	・Development of self-assembled large molecules with higher molecular complexity
Nobukazu Nameki	・Analyses of novel translation regulation mechanisms, and structural bioinformatics
Tomohisa Moriguchi	・Development of functional oligonucleotides, chemistry of natural products
Minoru Yamaji	・Photophysics and photochemistry of organic and organometallic compounds
Keiichi Yamada	・Development of novel bioactive peptides utilizing molecular imaging technique
Toshitada Yoshihara	・Photophysical and photochemical studies of aromatic compounds and its application for bioimaging
Masaru Yoneyama	・Transition metal-catalyzed polymerization, Synthesis of polymers from unutilized resources

Visiting Professors	
Hideki Abe	・ Studies on molecular and material design of polymers from biomass organic chemicals
Masayuki Ikeno	・ Development of silicone elastomers
Maki Ito	・ Synthesis and structure analysis of silsesquioxanes
Takahumi Imai	・ Polyorganosiloxanes: preparation, characteristics and industrial applications
Takayuki Kawashima	・ Creation of new functional molecules utilizing main group elements
Takeshi Saito	・ Preparation and evaluation of organic standard reference materials
Takayuki Kawashima	・ Creation of new functional molecules utilizing main group elements
Takeshi Saito	・ Preparation and evaluation of organic standard reference materials
Noriaki Seko	・ R&D of the polymer modification technique by radiation processing
Mitumasa Taguchi	・ Quantum beam reaction and environmental / medical applied research
Yasunari Maekawa	・ Synthesis and structure/property analysis for polymer functional materials
Tetsuya Yamaki	・ Nanotechnology Research and Material Development for Application to Next-Generation Energy Devices
Visiting Associate Professors	
Masaki Sugimoto	・ Synthesis of functional SiC ceramics from Si-based precursor polymers
Ryoji Tanaka	・ Exploration of new synthesis methods in organosilicon chemistry
Yoshihiro Kikkawa	・ Studies on Surface Molecuclar Assembly, Development of Biodegrable Polymer Materials with Controlled Biodegradation
Ryoji Tanaka	・ Exploration of new synthesis methods in organosilicon chemistry
Keiji Numata	・ Studies on structure-function relationship of spider dragline silk and artificial silk materials
Akihiro Hiroki	・ Radiation modification technologies for environment-friendly polymer materials
Hiroki Yamamoto	・ Study on Ultra-finefabrication Matterials Based on Reaction Induced by Quantum Beam

* will retire in March, 2025

◆Education Program of Mechanical Science and Technology

Faculty Members	Fields of Specialization
Professors	
Kenji Amagai	・Thermo-fluid engineering, Interfacial flow, Atomization, Environmental fluid engineering
Mikiya Araki	・Jet engines, Jet noise, Combustion, Spray
Tsuneaki Ishima	・The experimental elucidation for flow, heat and mass transfer and laser application for flow including small particle
Ikuo Shohji	・Heterophase interface science, micro joining, electronics packaging materials, brazing, surface treatment and corrosion of metals
Takaaki Suzuki	・Micromachines and MEMS for bio, optical and IoT applications
Nobuaki Nakazawa	・Human interface, biomedical motion control, and motion planning for a robot
Yoshihiko Hangai	・Fabrication and mechanical evaluation of porous metals
Yusaku Fujii	・Precision measurement, Optical measurement, Electrical-mechanical measurement
Tomohiko Furuhata	・Combustion, spray flow, exhaust gas aftertreatment and gas turbines
Shinichi Maruyama	・Vibration analysis and measurements of machines and structures, Nonlinear phenomenon
Takao Yamaguchi	・Numerical analysis for dynamics of cars, machines and living bodies, Vibration damping, Sound-proof structure, Acoustic black hole
Ko Yamada	・System control theory and its application, control of machine and robot, and intelligent control of the machine
Weimin Lin	・Developing a high efficiency ultra-precision polishing machine, Reseach for the application of ELID process, Creating a desktop processing machine and test
Associate Professors	
Tomoyasu Aihara	・Microscopic evaluation of metal strength and destruction , and character of fluid bysimulation
Masahiro Inoue	・Development and characterization of organic/metal/inorganic hybrid materials, and their application to novel electronic systems
Atsushi Iwasaki	・Structural health monitoring and composite material
Hisanobu Kawashima	・Bubble dynamics, heat and fluid flow measurement, and multiphase flow
Shinji Koyama	・Precision bonding, surface hardening, corrosion resistance, wear resistance
Yoshio Zama	・Spray flow, Quantitative visualization measurement, Automotive engineering
Ryosuke Suzuki	・Smart manufacturing, IoT utilization, Digital communications, Material testing technology
Akihiro Takita	・Optical measurement, Image processing, Social safety, IoT devices
Yuya Tanaka	・Characterization of organic materials and their application to semiconductor and mechatronic devices
Masato Funatsu	・Hypersonic and high-temperature gas dynamics, Thermal protection system for space vehicle, Plasma diagnoses by spectroscopy
Iwanori Murakami	・Applied electromagnetics, Actuator, Applied of superconducting levitation, Jumping robot
Md Abdus Samad Kamal	・Control of next generation vehicular traffic system, model predictive control and intelligent control and their applications
Visiting Professors	
Satoshi Okajima	・Design evaluation method for fast reactors, Coupling of probabilistic risk assessment and structural reliability evaluation
Tetsushi Kaburagi,	・IoT technology, Manufaturing technology, Material testing and mesurement
Takashi Wakai	・Structural design and material strength evaluation techniques for Fast Breeder Reactors
Tomoyoshi Watakabe	・Seismic design evaluation techniques for Fast Reactors
Hirohiko Watanabe	・Soldering, Evalution of microstructure, Bonding materials for high-temperature power electronics

◆Education Program of Environmental Engineering Science

Faculty Members	Fields of Specialization
Professors	
Hideyuki Itabashi	・Speciation and removal of heavy metal ions in the environment
Takayuki Ohshima	・Applications of pulsed electric field in biotechnology, Development of water treatment system with high-voltage devices
Jun-ichi Ozaki	・Design and preparation of catalytic carbon materials, particularly used in the applications of fuel cell and biomass conversion
Mitsuo Ozawa	・Fire resistance of concrete, Control of cracking due to volume change in concrete at early age
Shinji Katsura	・Development of manipulation technologies for biological molecules and their industry applications
Masanobu Kanai	・Local disaster prevention, evacuation, disaster information, disaster education
＊ Yutaka Kawahara	・Biomass science, development of bio-based materials and utilization of natural fibrous resources
＊ Yoshihiko Shimizu	・Mechanics of sediment transport, fluvial process in stream with vegetation, and river management
Nobuyoshi Nakagawa	・Development of an efficient liquid fuel cell by means of catalyst preparation and by optimizing the electrode structure
Akihiko Wakai	・Slope failure mechanisms, soil-structure interaction and their numerical simulation
Tomohide Watanabe	・Biological wastewater treatment, microbial and physicochemical degradation of water pollutants, Advanced water / wastewater treatment , resource recovery
Associate Professors	
Tsukasa Ito	・Water treatment, environmental microbiology and biodegradation of environmental pollutants
Ken-ichi Uzaki	・A study of regional sediment transport from rivers to coastal regions, Development of the calculation model to estimate the sediment discharge of river by using the simple model and field data
Masahiko Oshige	・Development of bio-molecular manipulation methods and application of reaction process analysis by using molecule design techniques
Fei Cai	・Earthquake-resistant measures for ground and earth structures, safety evaluation of landslides, and shallow ground thermal energy utilization
Takahiro Saitoh	・Applied mechanics, computational mechanics and non-destructive evaluation for civil engineering structures
Kazuyoshi Sato	・Synthesis and processing of ceramic materials and application for enegy and environmental devices
Reiji Noda	・Development and evaluation of waste/biomass energy utilization processes, Evaluation and design of a local society based on energy/mass flow analysis
Azuchi Harano	・Development of droplet levitation device and its application for micro chmeical process
Miyabi Hiyama	・Application of electrostatics on bio-separation and micro-chemical systems, development of bio-micro-electromechanical systems
Hideyuki Morimoto	・Development of all-solid-state batteries and novel battery materials
Visiting Professors	
Hiromi Shirai	・Environmental combustion engineering, clean energy conversion engineering
Naoki Noda	・Environmental combustion engineering, aerosol engineering, energy conversion of coal and biomass
Visiting Associate Professor	
Kenji Tanno	・Numerical combustion simulation, Energy control

＊ will retire in March, 2025

◆Education Program of Electronics and Informatics, Mathematics and Physics

Faculty Members	Fields of Specialization
Professors	
Kazuyuki Amano	・Computational complexity, theory of algorithms, machine learnig
You Yin	・Materials and devices for brain-like chip and information storage, nanofabrication, nanometrology
Hiromasa Oku	・Dynamic image control, High-speed image processing, High-speed optical devices
Tsuyoshi Kato	・Bioinformatics, machine learning, and statistical analysis
Tamihiro Gotoh	・Material science for optical devices
Hiroshi Sakurai	・Spintronics, Lithium ion battery, X-ray imaging, medical engineering
Kaoru Shimada	・Evolutionary computation, knowledge discovery and data mining
Koji Jimura	・Human cognitive neuroscience, neuroinformatics, and decision neuroscience
＊ Yoichi Seki	・Data mining, statistical learning theory and applied data analysis
Hayato Sone	・Nanometer measurement and fabrication, nanoelectronic devices, high-sensitive biosensor for medical use, crystal growth
Manabu Takahashi	・Theoretical study on electronic properties and magnetism in transition metal compounds
Kazumi Tanuma	・Elasticity equations, inverse problems
Shin-ichi Nakano	・Graph algorithm, and Information visualization, optimization
Tatsuya Nagao	・Theory of strongly correlated electron system
Seiji Hashimoto	・Motion control, system identification, vibration control, precision control, renewable energy
Osamu Hanaizumi	・Devices for optical communication, Microphotonics
Takashi Miwa	・Applied measurement for electromagnetic and ultrasonic wave
Kuniyuki Motojima	・Radio wave propagation, Wireless measurement, Electromagnetic wave simulation
Yasushi Yuminaka	・Multiple-valued logic and new-paradigm analog/digital integrated circuits
＊ Shuji Watanabe	・Integral transforms of Fourier type, commutation relations in quantum mechanics and their applications
Associate Professors	
Toru Araki	・Graph theory, Graph algorithm, Combinatorial optimization
Takahiro Ando	・Software Engineering, Formal Methods, Smart Mobility
Tadashi Ito	・Computed tomography and its applications, inverse problems in measurement
Takeshi Ohtsuka	・Geometric surface evolution equation, Singular limit of reaction diffusion equation
Syun-ji Ozaki	・The optical properties and electronic energy-band structures of nanoatructured semiconductors and ternary compound semiconductors
Ken-ichi Kawanishi	・Information and communication systems, performance evaluation, queueing theory
Nobuyuki Kurita	・Magnetic bearing, maglev motor, automatic control engineering, power electronics [Sabbatical leave]
Shota Saito	・Information theory and its application to machine learning
Yutaka Shikano	・Theoretical Physics, Quantum Metrology, Data Analysis
Kosuke Suzuki	・X-ray characterization, Backscatter imaging, Electronic structure, Functional oxide, Lithium rechargeable battery
Masako Suzuki-Sakamaki	・Synchrotron Science, Surface/Interface Science, Multiferroics
Toshimitsu Takaesu	・Hilbert Space Theory, Relativistic Quantum Field Theory, Spectral and Scattering Theory
Toshiki Takahashi	・Physics of compact torus plasmas for thermonuclear fusion reactors
Yasuhiro Takahashi	・Quantum information science, Quantum complexity theory, Quantum algorithm
Yoshitaka Takahashi	・Optoelectronics and quantum electronics
Yuki Tanaka	・High-speed arithmetic algorithm, IoT device and its management system, graph theory
Koji Chida	・Data Privacy, Cryptography, Information Security
Akito Chiba	・Photonics, Optoelectronics
Hirofumi Nagoshi	・Analytic number theory, value-distribution of arithmetic functions
Makoto Hamana	・Software, functional programming languages, automated reasoning
Toshiya Hikihara	・Low-dimensional strongly correlated electron systems, quantum spin systems, numerical calculation
＊ Ken-etsu Fujita	・Logic of programming, programming languages, mathematical logic
Kenta Miura	・Light-emitting materials and devices, Photoelectric devices
Takafumi Miyazaki	・Exponential Diophantine equation, Diophantine analysis
Yoshifumi Morita	・Theoretical study on low dimensional quantum systems and superconductors

Visiting Professors	
Koji Asami	・Measuring and testing techniques for RF, analog and mixed-signal LSIs
Masahiro Ishida	・Testing methodologies for LSI circuits
Tomio Iwasaki	・Sustainable and bio-compatible materials design with molecular simulations and materials informatics
Teruo Kohashi	・Magnetic metrology, Spin polarized scanning electron microscopy
Kazuo Saito	・Advanced electronic engineering
Nobukazu Takai	・CMOS analog integrated circuit design and its automated design algorithm
Ken Harada	・Electron microscopy, electron interferometry, electron holography, and their physical applications

* will retire in March, 2025

◆ Gunma University Initiative for Advanced Research (GIAR)

Faculty Members	Fields of Specialization
Professor	
Keisuke Nimura	・Gene expression, Gene Therapy, Oncotherapy, DNA barcode, Next Generation Sequencing

◆ Gunma University Center for Food Science and Wellness (GUCFW)

Faculty Members	Fields of Specialization
Lecturers	
Akiko Fujiwara	・Development of Symbiosis-targeted environmentally-friendly control methods for agricultural pest
Yukari Ohta	・Development of application technology of microorganisms and enzymes/Food function analysis

*If you will apply for the GUCFW research lab, please contact the Admissions and Graduate School Section before application.

試験場への案内

◎　群馬大学理工学部

・JR両毛線桐生駅(北口)から理工学部まで徒歩約25分
・JR両毛線桐生駅下車(北口)から
おりひめバス「旧女子高前行、上菱団地行、梅田ふるさとセンター前行」に乗車し、「群馬大学桐生正門前」で下車(所要時間約7分)
・東武桐生線新桐生駅下車、駅前からおりひめバス「旧女子高前行、上菱団地行」に乗車し、「群馬大学桐生正門前」で下車(所要時間約15分)

(注意　1)　理工学部は、平成25年4月に工学部を改組して設置された学部ですが、施設の名称が「工学部」となっている場合がありますので、御留意ください。
(注意　2)　試験場への自動車・オートバイの乗り入れは禁止します。
(注意　3)　公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、試験開始又は集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

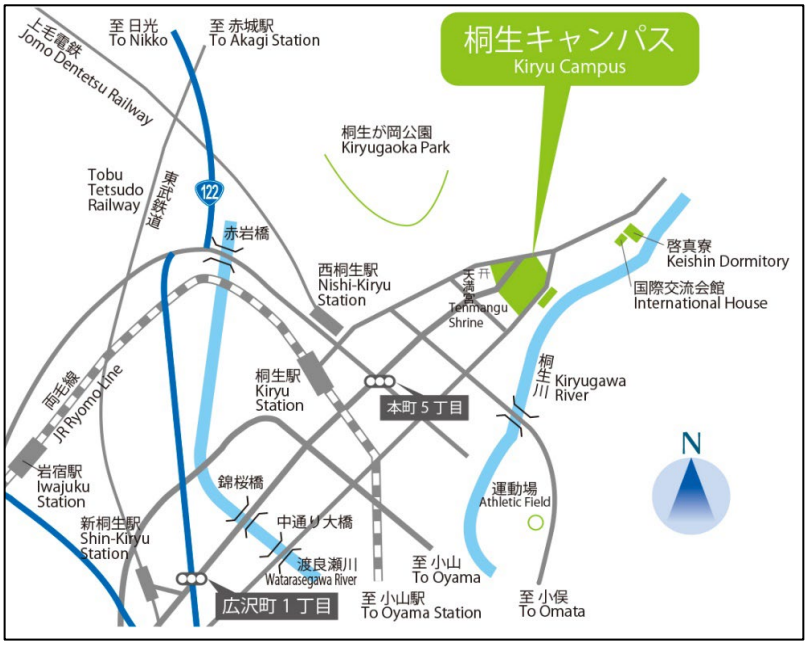
Examination Location Information

◎　Gunma University School of Science and Technology [群馬大学理工学部]

・**JR and On Foot:** 25-minute walk from the Kiryu Station North Exit [桐生駅], JR Ryomo Line [両毛線]
・**JR and Bus:** After getting off at JR Ryomo Line Kiryu Station (North Exit [北口]), take the Orihime Bus [おりひめバス] for *"Kyu Joshikou-mae iki* [旧女子高前行], *Kamibishi Danchi iki* [上菱団地行], *Umeda Furusato Center-mae iki* [梅田ふるさとセンター前行]."
Get off at *"Gunma Daigaku Kiryu Seimon-mae* [群馬大学桐生正門前]" after approximately 7 minutes.
・**Tobu Line and Bus:** After getting off at Shin-Kiryu Station [新桐生駅] on the Tobu Kiryu Line [東武桐生線] take the Orihime Bus in front of the station for *"Kyu Joshikou-mae iki, Kamibishi Danchi iki."* Get off the bus at *"Gunma Daigaku Kiryu Seimon-mae"* after approximately 15 minutes.

Note 1: The School of Science and Technology was established following a reorganization of the Faculty of Engineering in April 2013. Please note that it is still sometimes referred to as the "Faculty of Engineering [工学部]."
Note 2: Traveling to the exam location by car or motorbike is forbidden.
Note 3: Please be sure to check for the latest public transportation information so that you can reach the exam location well in advance of the exam starting time or the designated time.

桐生地区(理工学部)



桐生地区への交通案内(概要)

JR両毛線桐生駅下車　北方へ2.5Km
東部桐生線新桐生駅下車　北方へ4.1Km